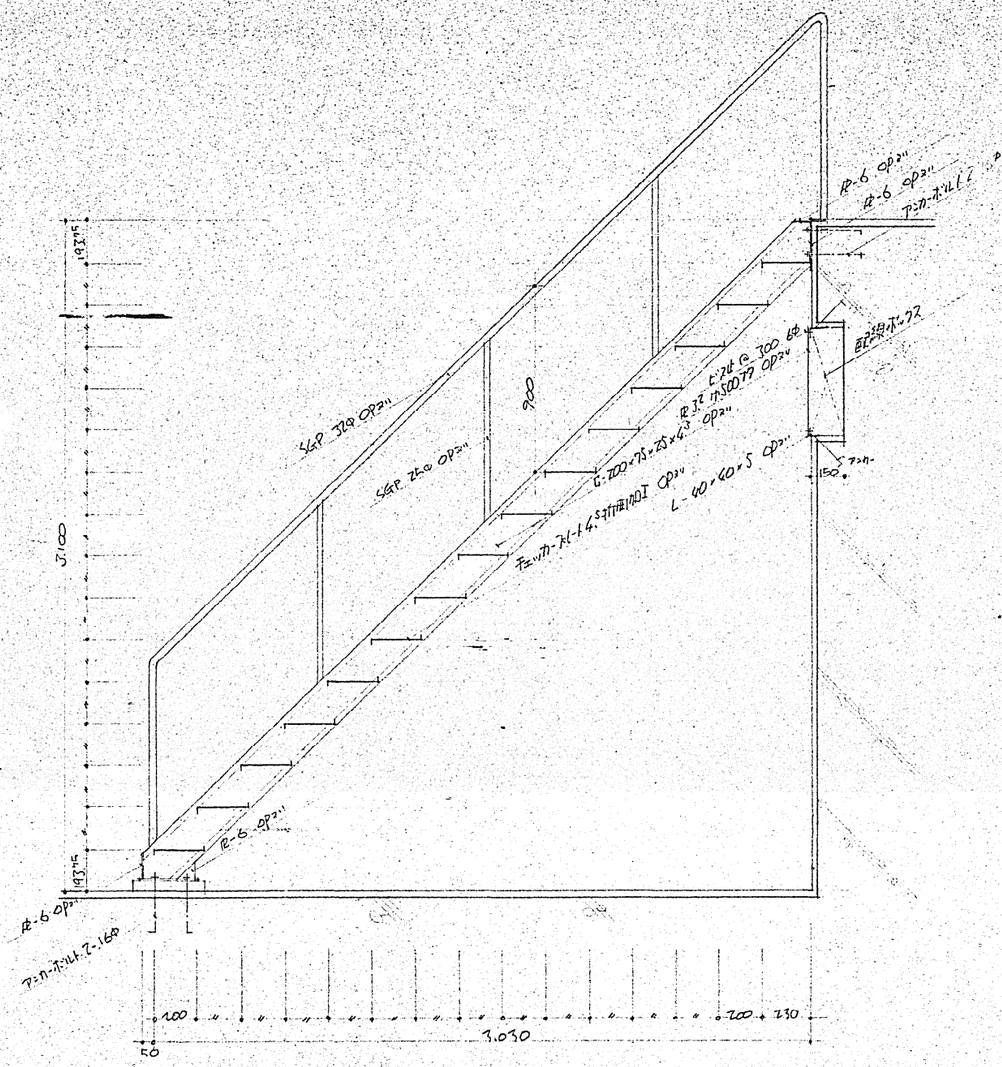
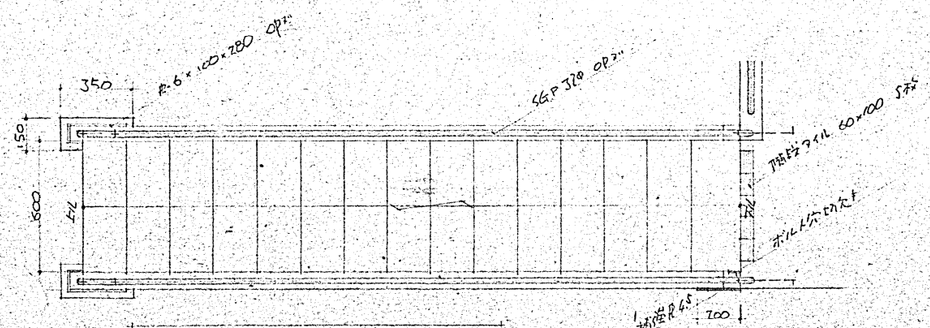
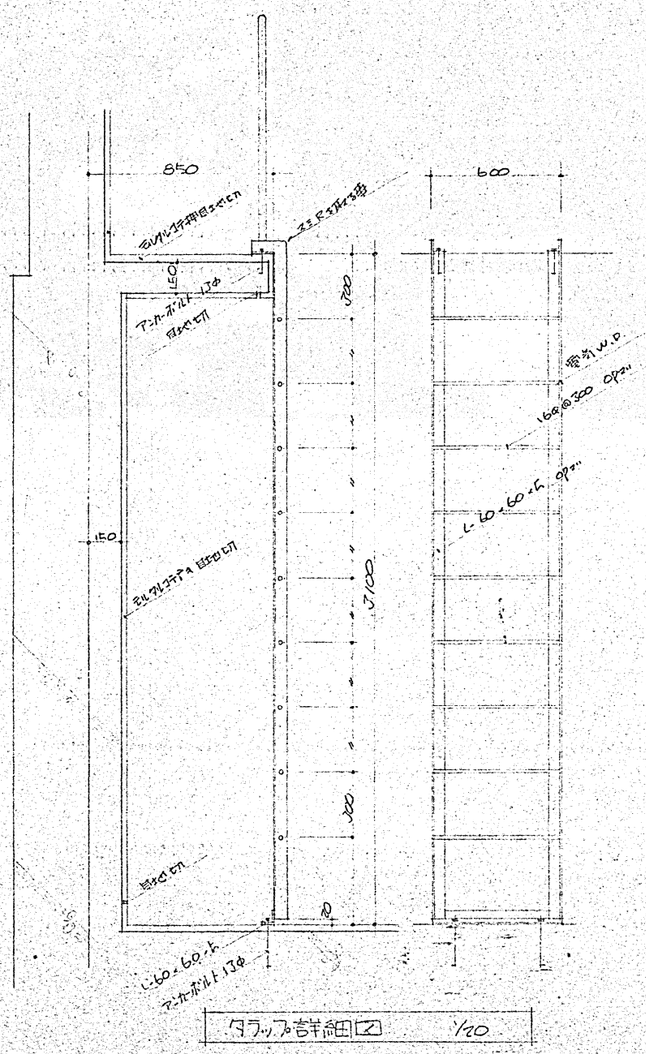
A 19



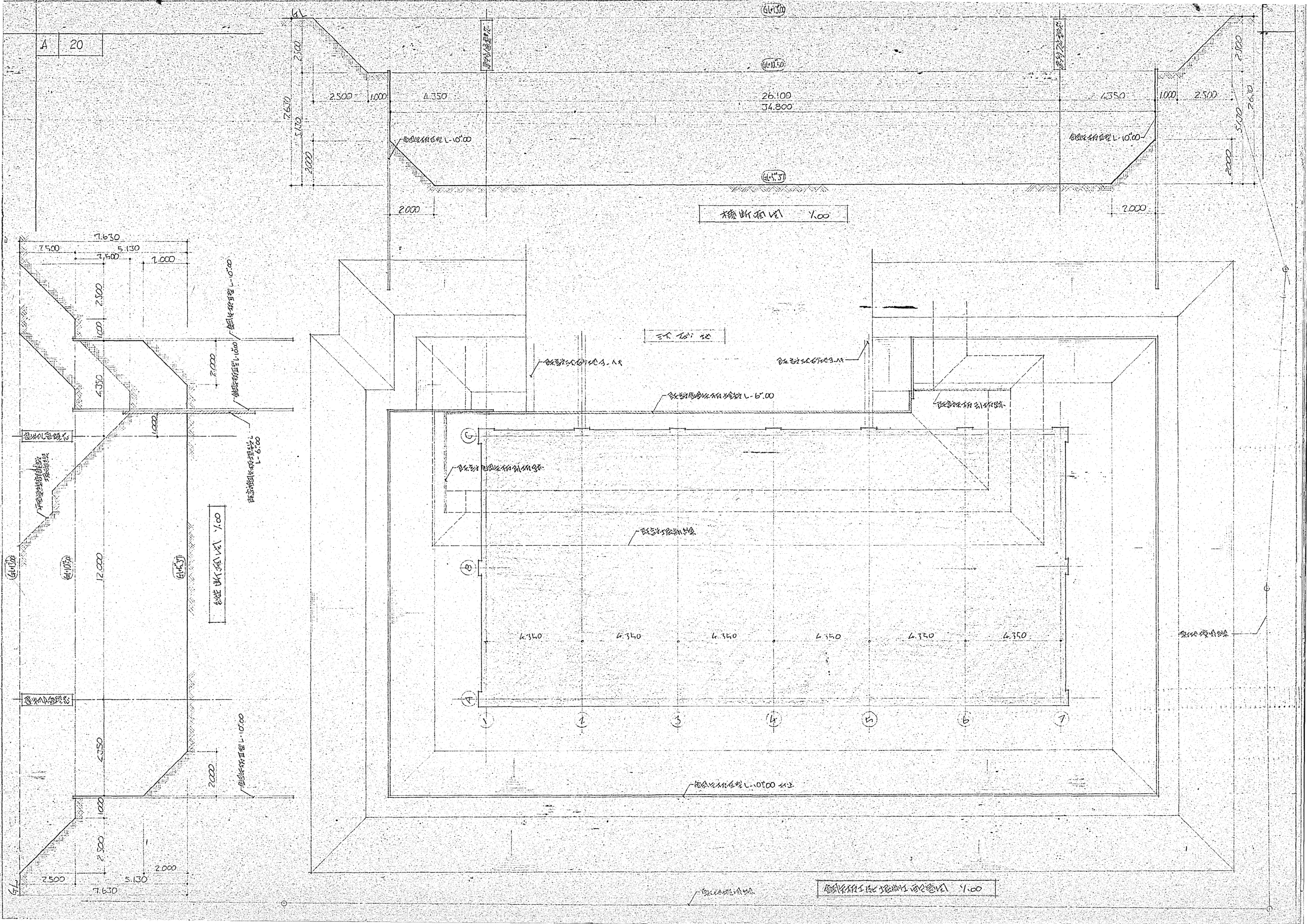
鉄骨階段詳細図 1/20



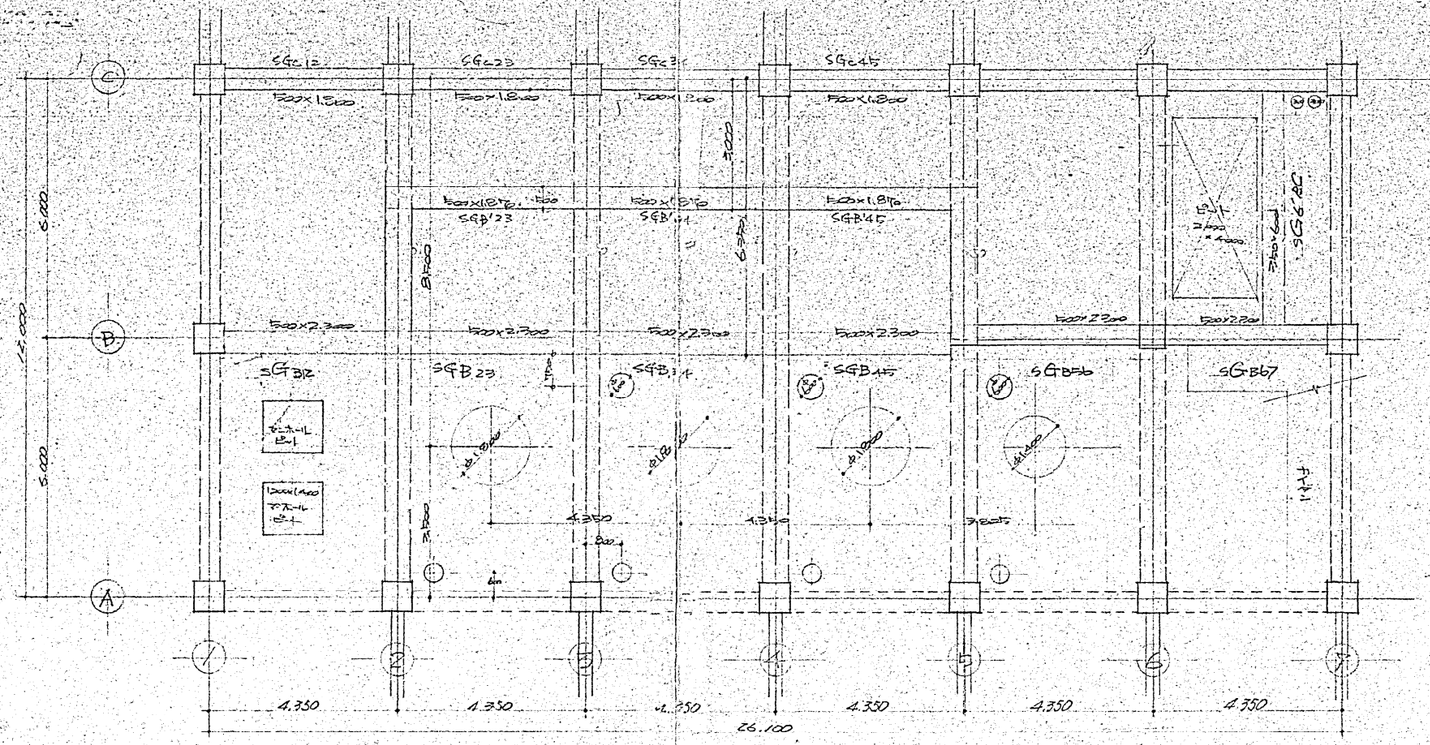


タラップ詳細図 1/20

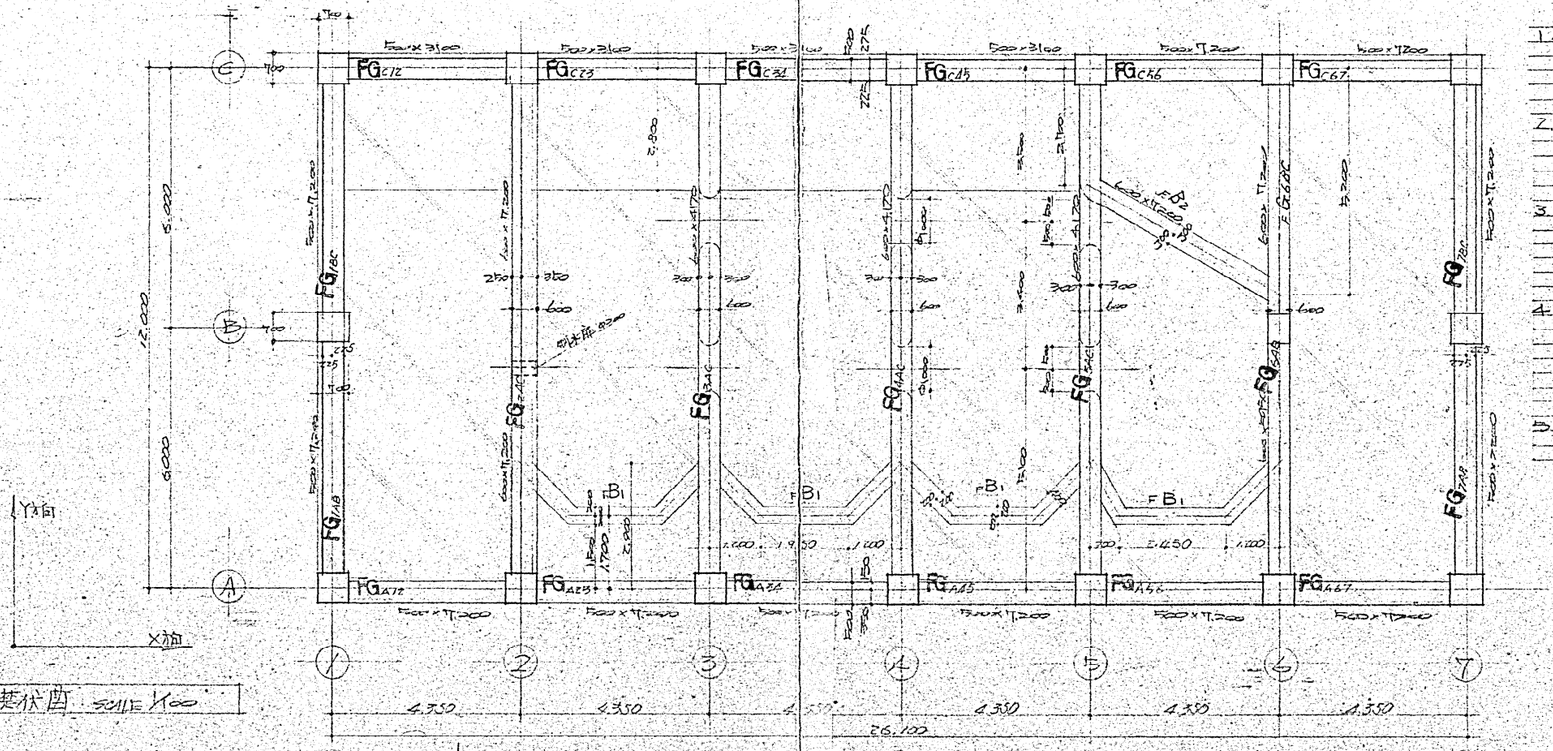
A | 20


GL+10.50
GL+5.37
2.500
1.000
4.350
26.100
34.800
2.000
7.630
5.130
横断面図 1/100
7.500
7.500
1.000
12.000
4.350
2.000
1.000
2.500
5.130
7.630
4.350
4.350
4.350
4.350
4.350
4.350
1
2
3
4
5
6
7
A
B
C
平面図 1/100

A 21



スラブ受梁図 scale 1/100



基礎伏図 scale 1/100

特記事項

1. 鉄筋の定着長さは下記による

異型鉄筋	引張側	50d以上
	圧縮側	40d以上
丸鋼	引張側	40d以上
	圧縮側	30d以上

2. 柱筋のフックは下記の通りに行なう(異型鉄筋の場合)

出っ張り部分(異形の部分)はフックを行う
最上部は全てフックを行う

3. 梁筋のフックは下記の通り行う(異型鉄筋の場合)

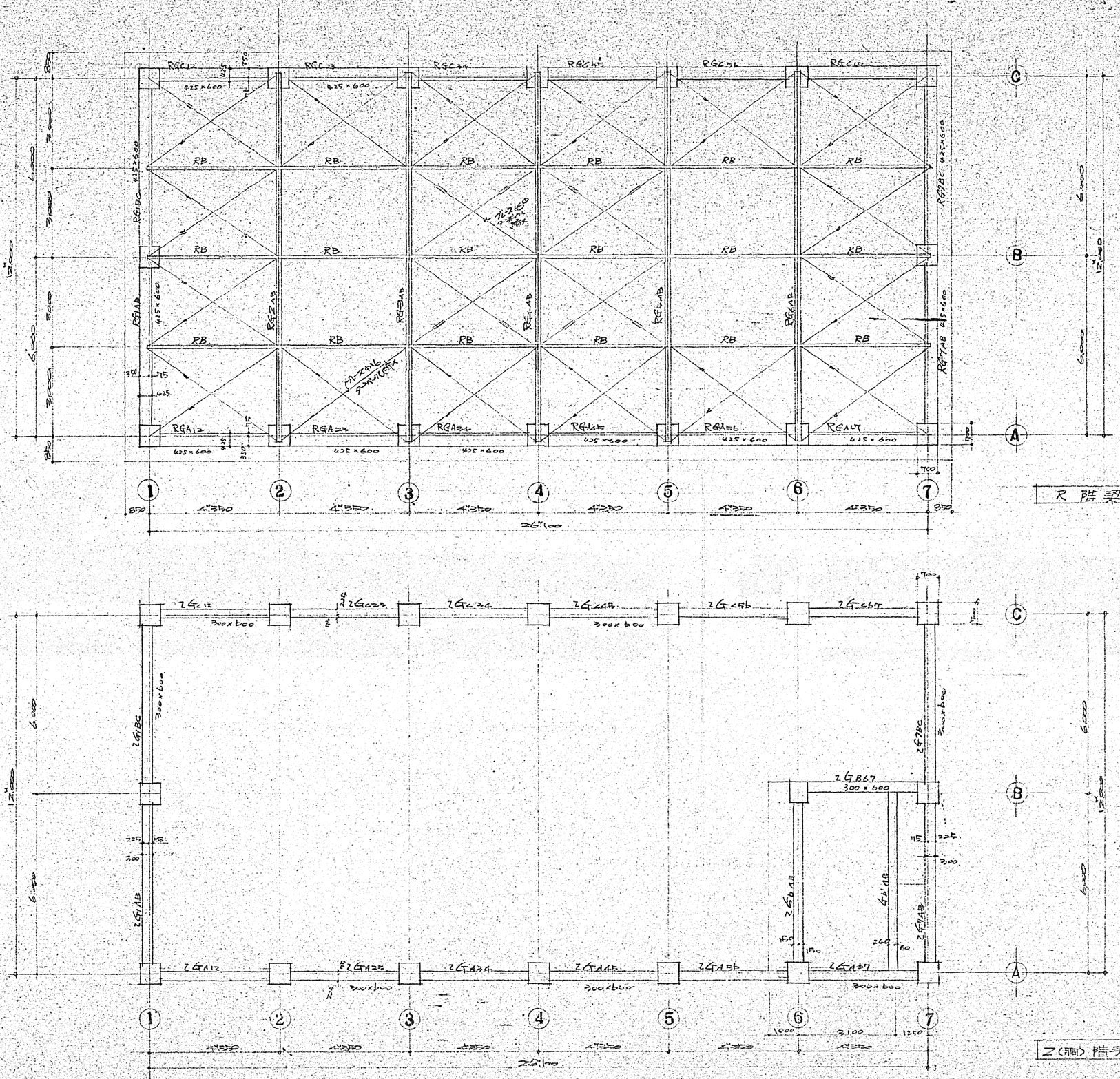
スラブ 出っ張り下端筋(異形の部分)はフックを行う

4. 梁のスタラップは下記の通り行う

(ハネて溝なし) (全てにフックを行う)

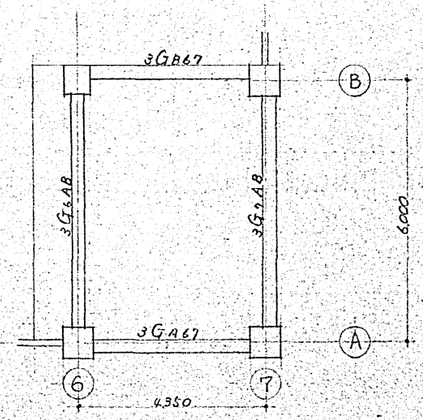
5. ベタ、土間等のサシ筋は異型鉄筋を使用のこと

A 22



R 階梁伏図 SCALE 1/100

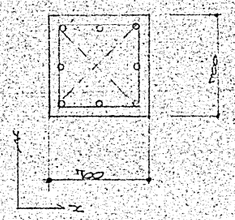
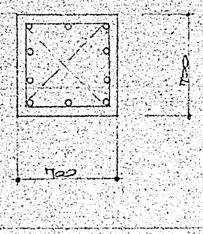
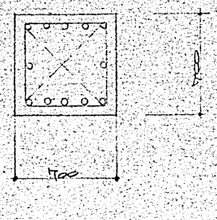
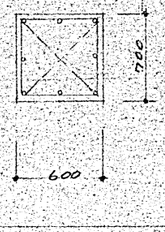
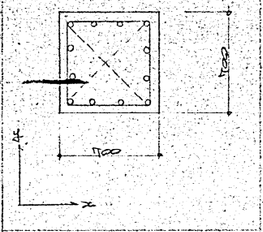
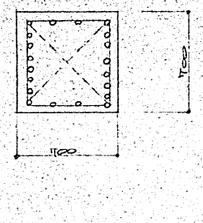
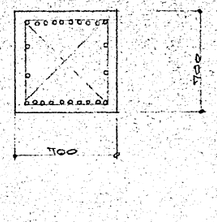
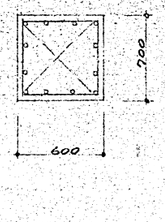
2(階)梁伏図 SCALE 1/100

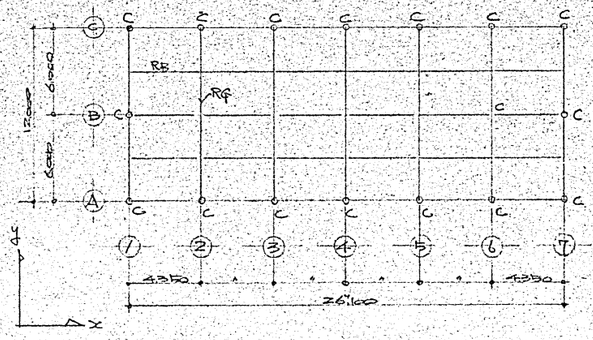


管理室屋根伏図 SC 1/100

A 23

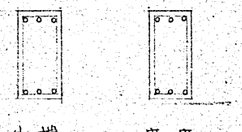
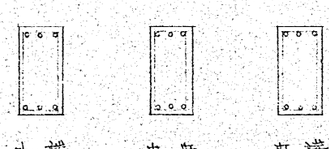
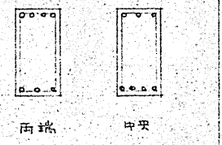
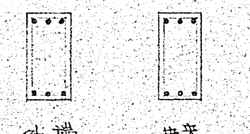
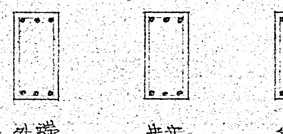
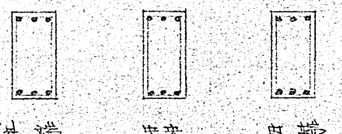
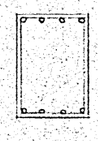
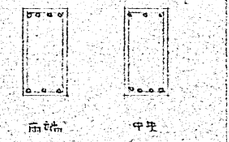
柱 リスト Sc: 1/50

	記号	CA_1 CC_1 CA_{11} CC_{11}	CB_1 CB_{11}	$CC_2 \sim CC_6$ $CA_2 \sim CA_6$	CB_6
2階	断面図 Sc 1/30				
	寸法	700×700	700×700	700×700	600×700
	X方向	3-D25	4-D25	3-D25	3-D25
	Y方向	3-D25	3-D25	5-D25	3-D25
	フープ	柱頭柱脚 9φ@100 中央 9φ@150	柱頭柱脚 9φ@100 中央 9φ@150	柱頭柱脚 9φ@100 中央 9φ@150	柱頭 主脚 9φ@100 中央 9φ@150
	ダイヤ	ダイヤ筋 9φ@600	ダイヤ 9φ@600	ダイヤ 9φ@600	ダイヤ筋 9φ@600
1階 (GL+3500以下躯体)	断面図 Sc 1/30				
	寸法	700×700	700×700	700×700	600×700
	X方向	4-D25	8-D25	4-D25	4-D25
	Y方向	4-D25	4-D25	10-D25	4-D25
	フープ	柱頭柱脚 9φ@100 中央 9φ@150	柱頭柱脚 9φ@100 中央 9φ@150	柱頭柱脚 9φ@100 中央 9φ@150	柱頭 柱脚 9φ@100 中央 9φ@150
	ダイヤ	ダイヤ 9φ@600	ダイヤ 9φ@600	ダイヤ 9φ@600	ダイヤ筋 9φ@600



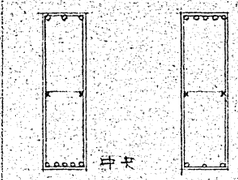
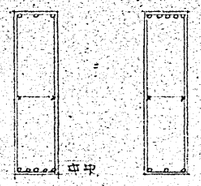
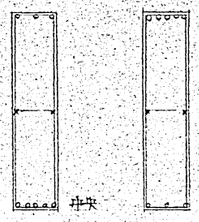
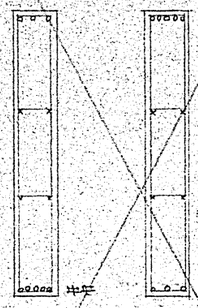
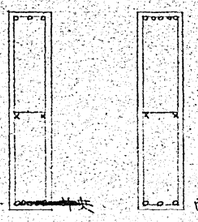
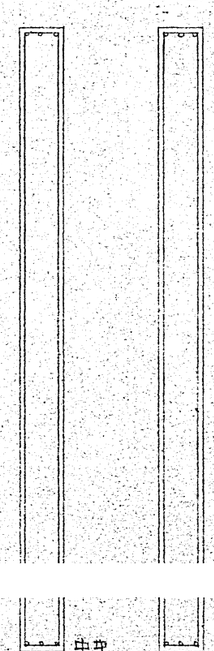
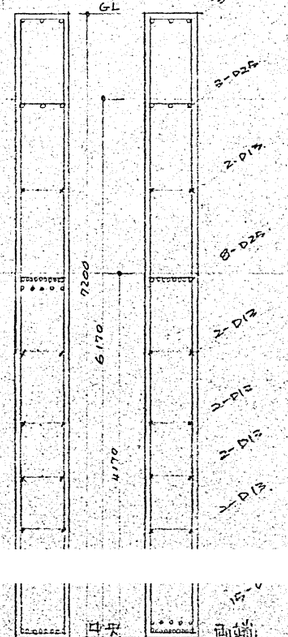
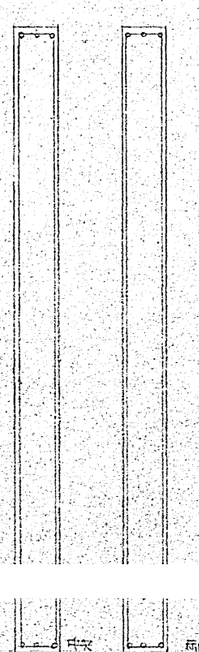
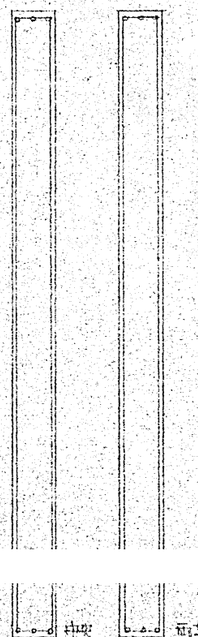
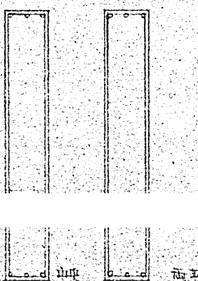
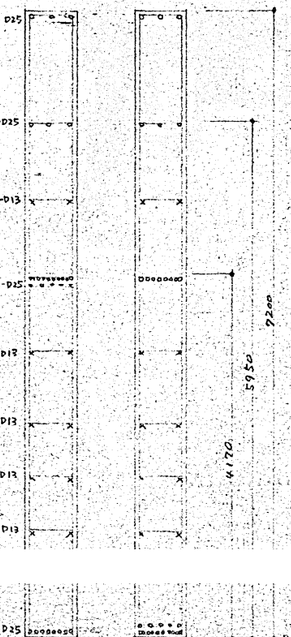
柱梁 キープラン

梁リスト R階 胴梁 SCALE 1/50

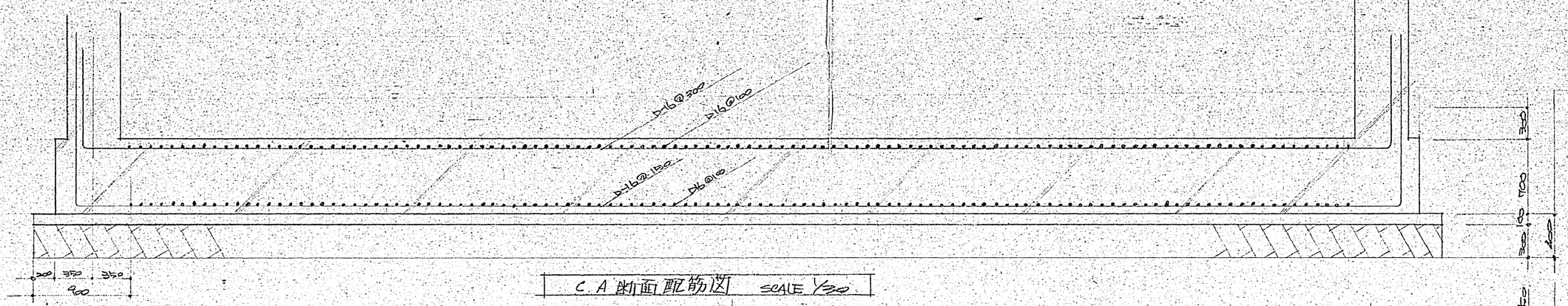
	G_{1BC} G_{1AB} G_{1BC} G_{1AB}	G_{A12} G_{A6T} G_{C12} G_{C6T}	A.C通り 2~6間 梁	RG鉄骨梁 $G_{2AB} \sim G_{6AB}$	RB梁	$2G_{B6T}$ $2G_{A6T}$ $2G_{6AB}$ $2G_{7AB}$	$3G_{B6T}$ $3G_{A6T}$ $3G_{6AB}$ $3G_{7AB}$
R階							
	外端 中央 内端	外端 中央 外端	外端 中央 内端			西端 中央	両端 中央
寸法	425×600	425×600	425×600	H-400×200×8×13	H-150×75×5×7	300×600	300×600
上筋	3-D19 3-D19 3-D19	3-D19 3-D19 3-D19	3-D19 3-D19 3-D19			4-D22 3-D22	4-D19 3-D19
下筋	3-D19 3-D19 3-D19	3-D19 3-D19 3-D19	3-D19 3-D19 3-D19			3-D22 4-D22	3-D19 4-D19
スターラップ	9φ@120 9φ@120 9φ@120	9φ@120 全左 全左	9φ@120 9φ@120 9φ@120			9φ@120 9φ@120	9φ@120 9φ@120
備考						ホイストレール負梁	G_{6T} $_{1B}$
2階 (胴梁)							
	外端 中央 内端	外端 中央 外端	外端 中央 内端				両端 中央
寸法	300×600	300×600	300×600			500×600~950	300×600
上筋	3-D22 3-D22 3-D22	3-D22 3-D22 3-D22	3-D22 3-D22 3-D22			4-D19	4-D19 3-D19
下筋	3-D22 3-D22 3-D22	3-D22 3-D22 3-D22	3-D22 3-D22 3-D22			4-D19	3-D19 4-D19
スターラップ	9φ@120 9φ@120 9φ@120	9φ@120 全左 全左	9φ@120 全左 全左			9φ@100	9φ@120 9φ@120
備考							

A 24

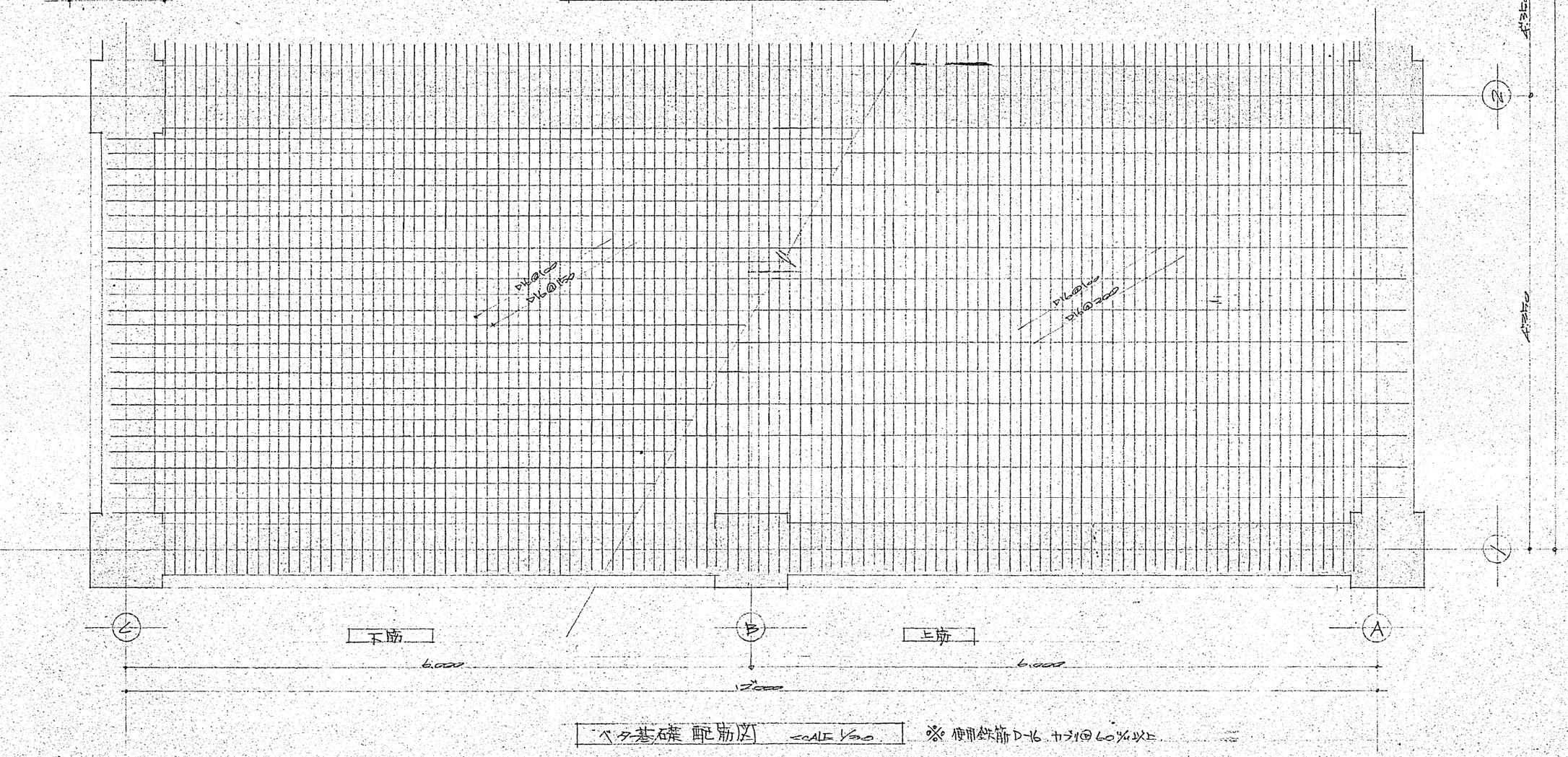
地中梁リスト　SCALE 1/50

	SG412 ~ SG445	SG573 ~ SG595	SG612 ~ SG645	SG656	SGB56 SGB67	SGB84
断面 SCALE 1/50	 中央 両端	 中央 両端	 中央 両端	 中央 両端	 中央 両端	中央 両端
寸法	500×1800	500×1800	500×2300	500×2300	500×2300	350×600
上端筋	3-D25　5-D25	3-D25　5-D25	3-D25　5-D25	3-D25　5-D25	3-D25　5-D25	4-D22
下端筋	5-D25　3-D25	5-D25　3-D25	5-D25　3-D25	5-D25　3-D25	5-D25　3-D25	4-D22
スタラップ	D13 @100　D13 @100	D13 @100　D13 @100	D13 @100　D13 @100	D13 @100　D13 @100	D13 @100　D13 @100	D13 @100
中子メ	D13 @1000　D13 @1000	D13 @1000　D13 @1000	D13 @1000　D13 @1000	D13 @1000　D13 @1000	D13 @1000　D13 @1000	
ズレ止メ	2-D13　2-D13	2-D13　2-D13	2-D13　2-D13	2-D13　2-D13	2-D13　2-D13	
	FG1AB FG1BC FG1AB FG1BC	FG2AC ~ FG5AC	FGA1C FGA67　FGC67	FGA22 ~ FGA76　FG2AB	FG412 ~ FG645	FG6AB FG6BC
	※スタラップ、中止メ、ズレ止メ、壁配筋参照		※スタラップ、中止メ、ズレ止メ、壁配筋参照	※スタラップ、中止メ、ズレ止メ、壁配筋参照	※スタラップ、中止メ、ズレ止メ、壁配筋参照	
断面 SCALE 1/50	 中央 両端	 GL 3-D25 3-D25 2-D13 6170 4170 7200 8-D25 2-D13 2-D13 2-D13 2-D13 30 中央 両端 15-D25	 中央 両端	 中央 両端	 中央 両端	 3-D25 3-D25 2-D13 15-D25 2-D13 2-D13 2-D13 8-D25 6170 5950 7200 中央 両端
寸法 Bxd	500×7200	500×4170 (6170), 7200	500×7200	500×7200	500×2300	600×5950 (7200)
上端	コールド　コールド	15-D25　8-D25	コールド　コールド	コールド　コールド	コールド　コールド	15-D25　8-D25
中子メ	D13 @1000　D13 @1000	D13 @1000　D13 @1000	D13 @1000　D13 @1000	D13 @1000　D13 @1000	D13 @1000　D13 @1000	D13 @1000
ズレ止メ	D16 @100 (@200)　D16 @100 (@200)	D13 @1000　D13 @1000	D16 @100 (@200)　D16 @100 (@200)	D16 @100 (@200)　D16 @100 (@200)	D16 @100　D16 @100	D13 @1000

A 25



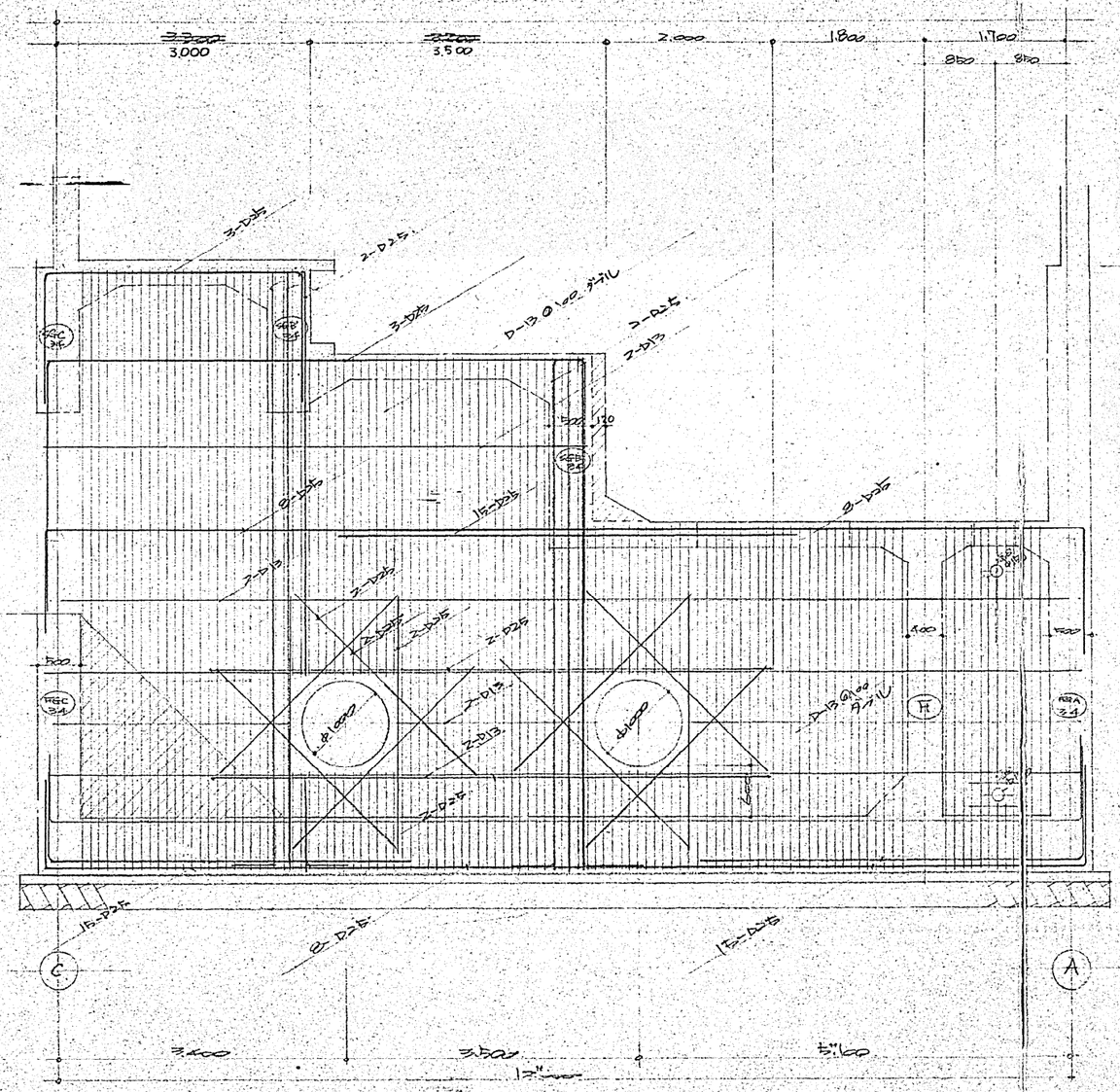
C.A 断面配筋図 SCALE 1/30



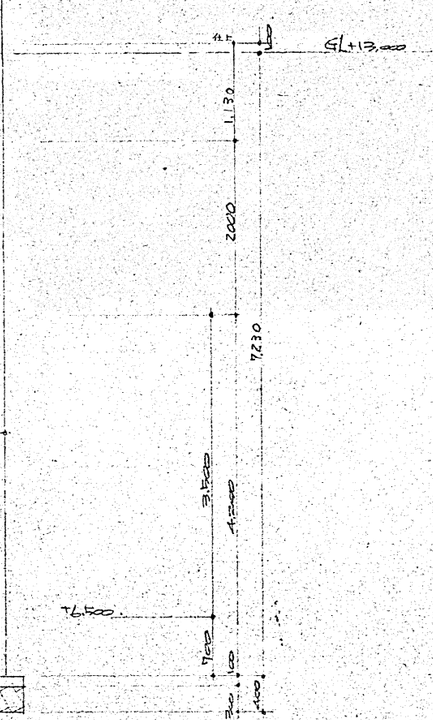
ベタ基礎 配筋図 SCALE 1/50

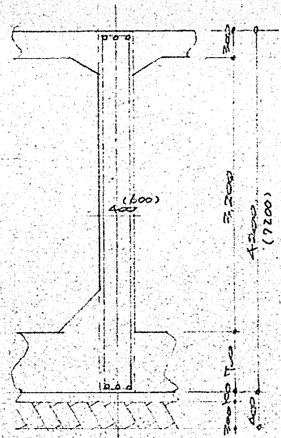
※ 使用鉄筋 D-16 カブリ@60%以上

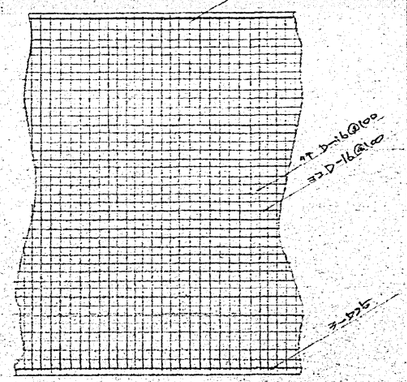
A 26



先端地中梁(壁)配筋図 scale 1/50



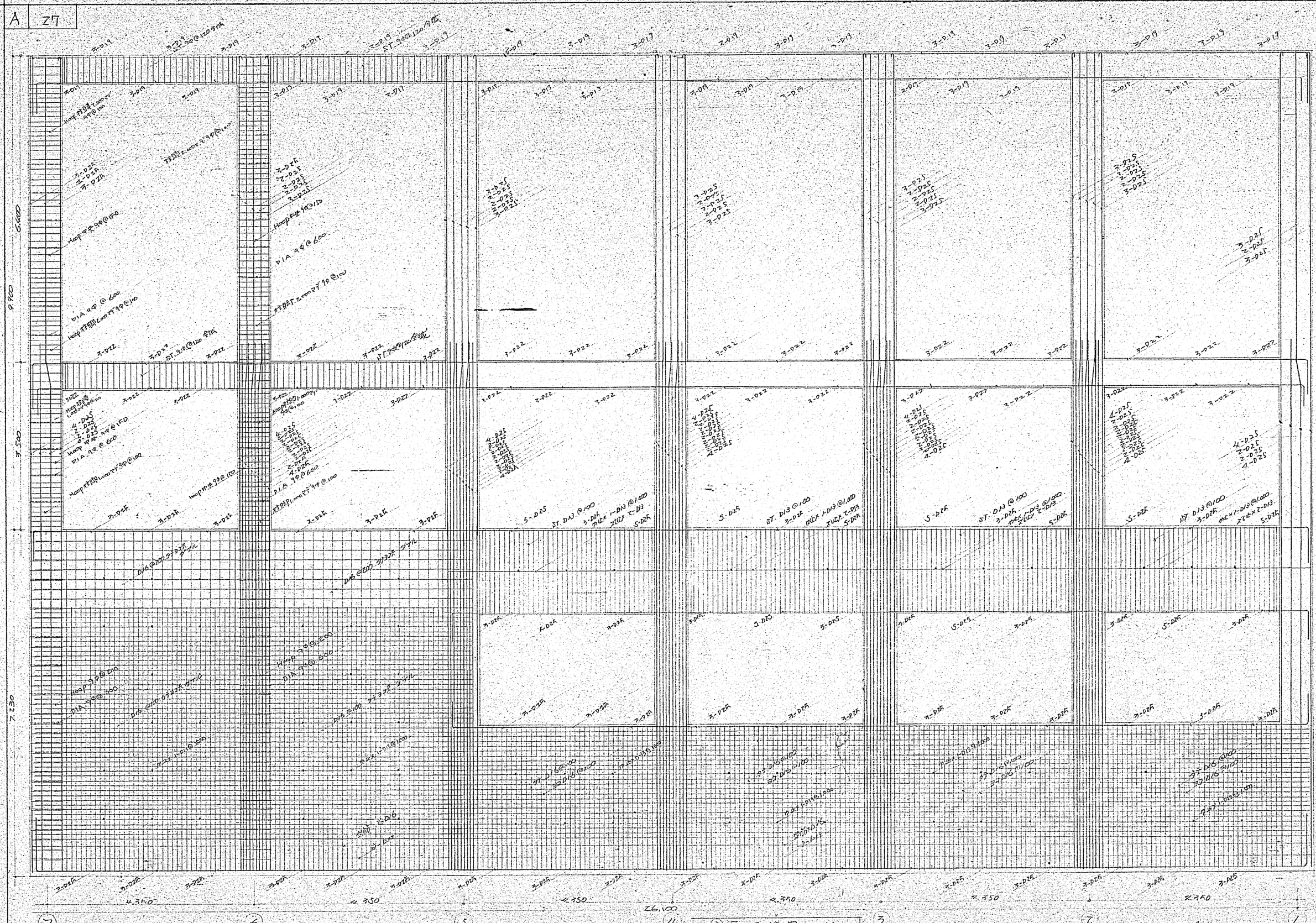




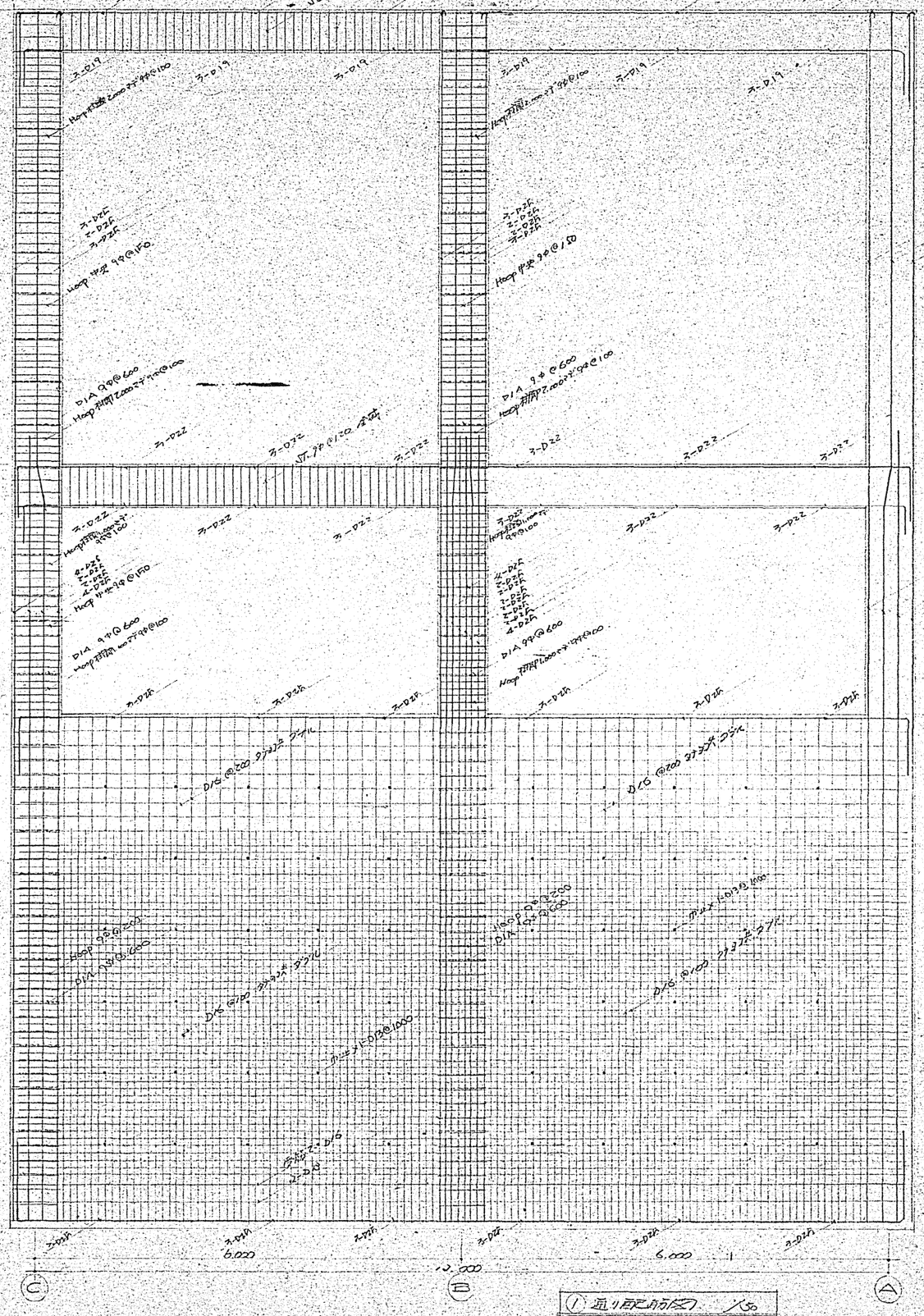
FB1 基中梁(壁)配筋図 scale 1/50

※( ) 内に示す寸法はFB2で配筋は上図と同じとする。

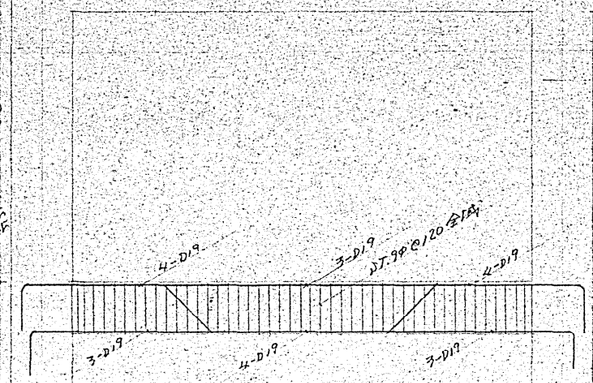
A | Z17


6,400
9,900
3,500
27,230
4,350
4,350
4,350
4,350
4,350
4,350
26,100
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①
通り芯記号（重心）

A 28



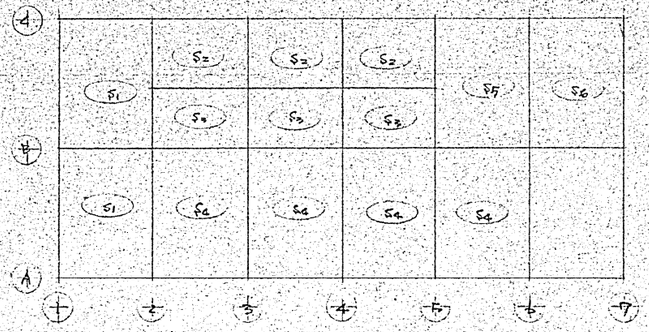
① 通り配筋図 1/50

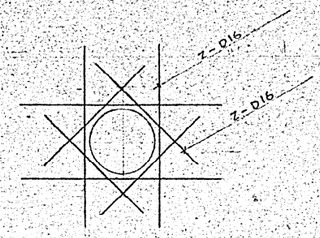


※ 柱及び梁配筋は左図に準ずる

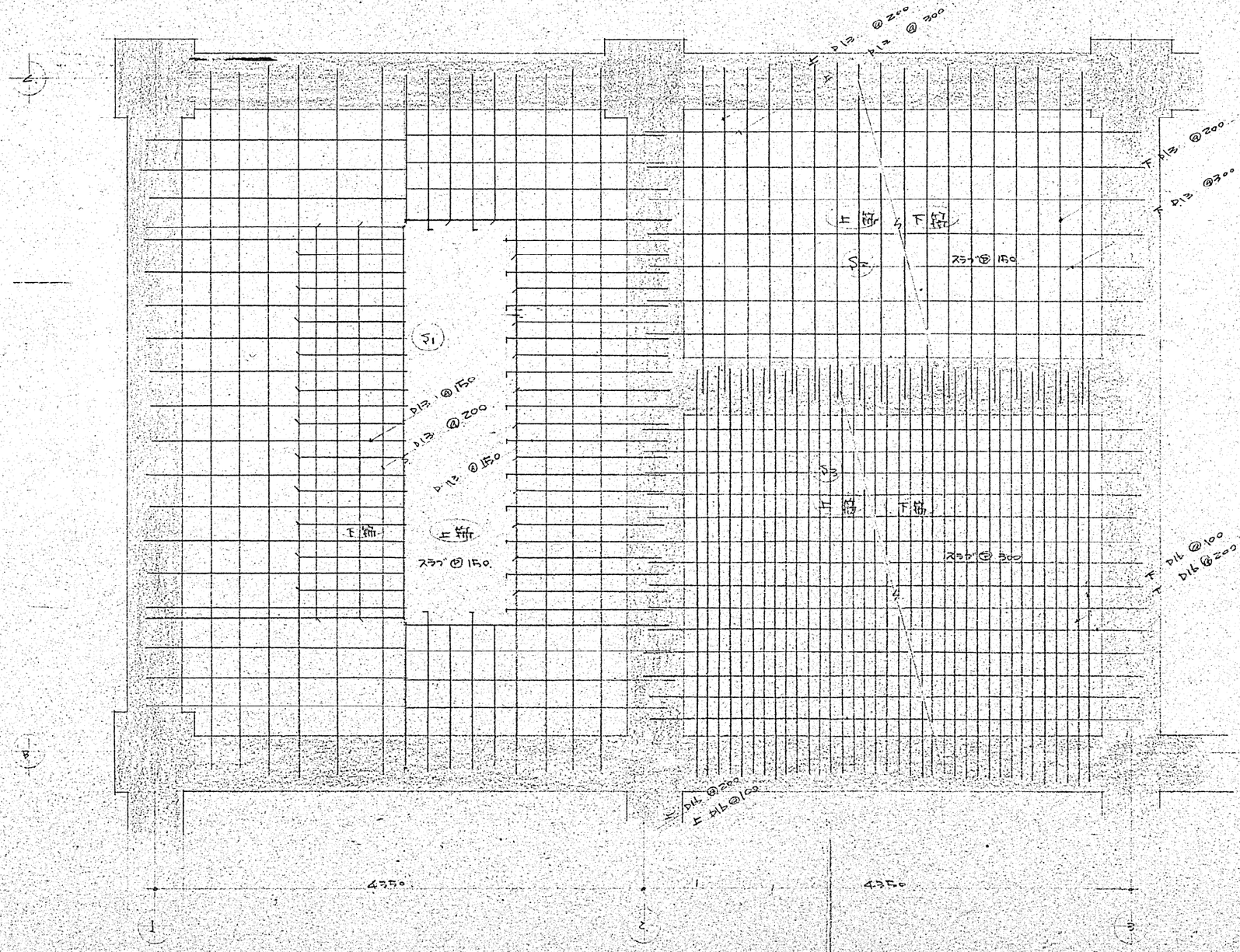
⑦ 通り配筋図 1/50

A 29

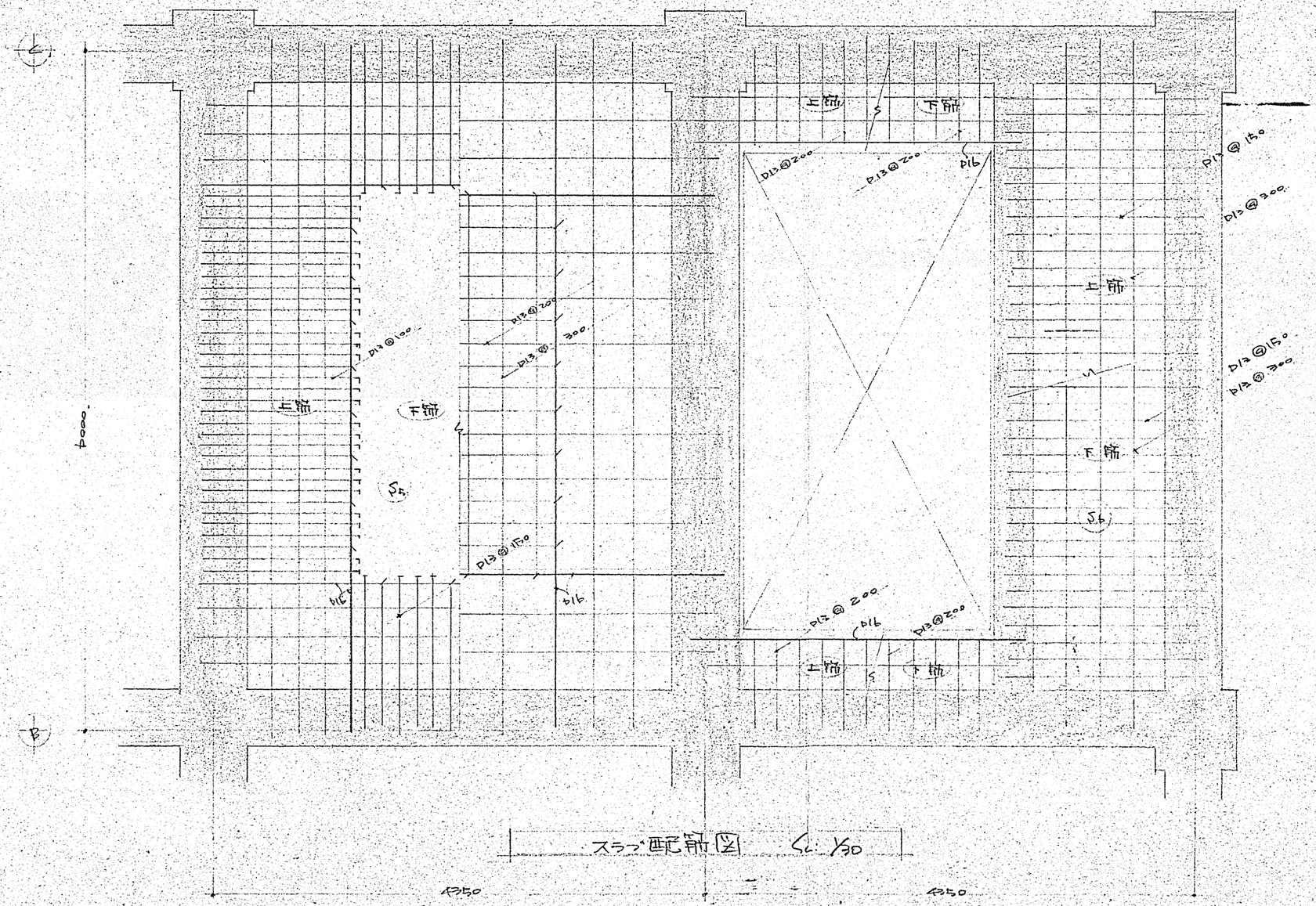




MH筋強筋 1/30

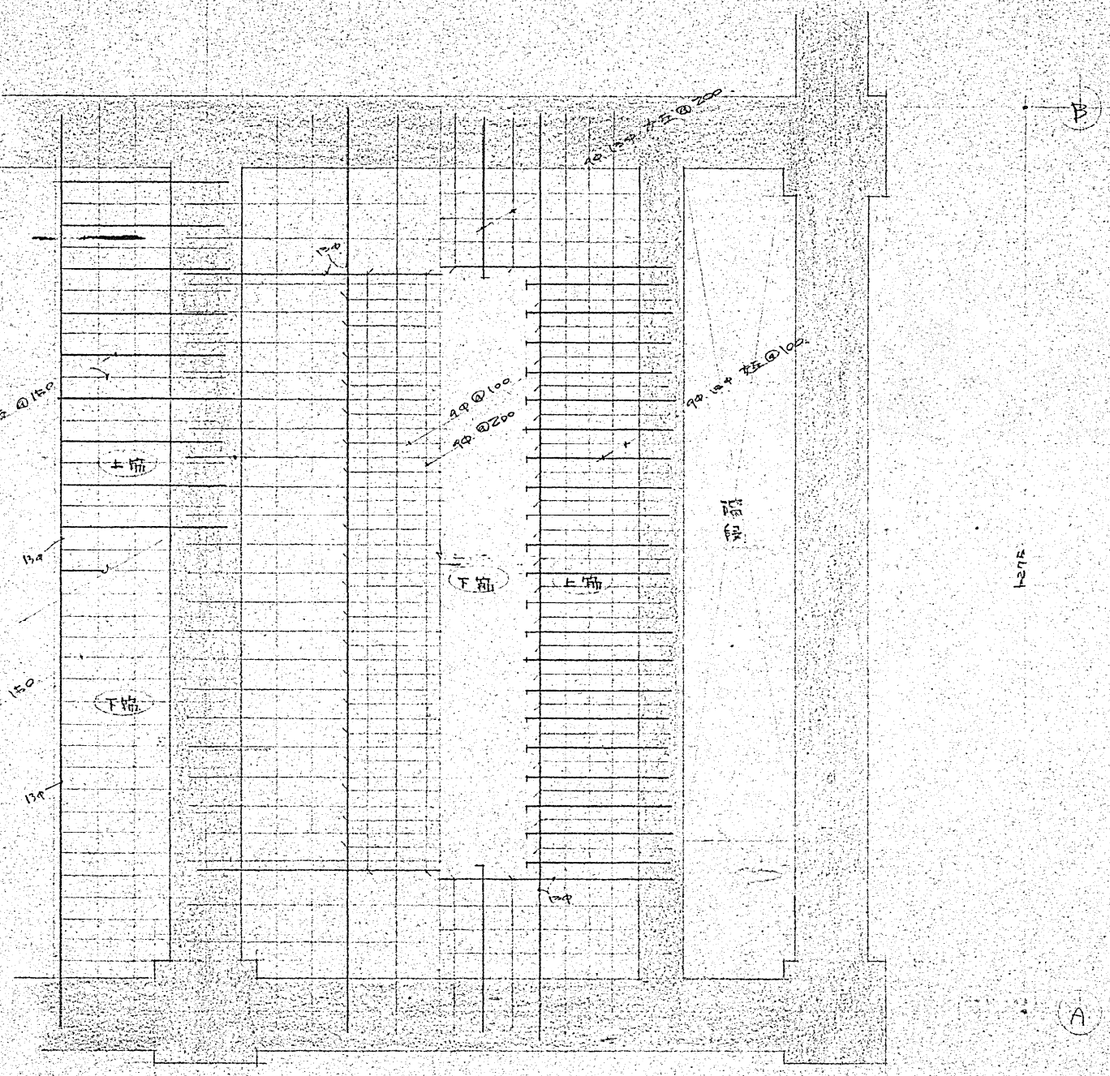


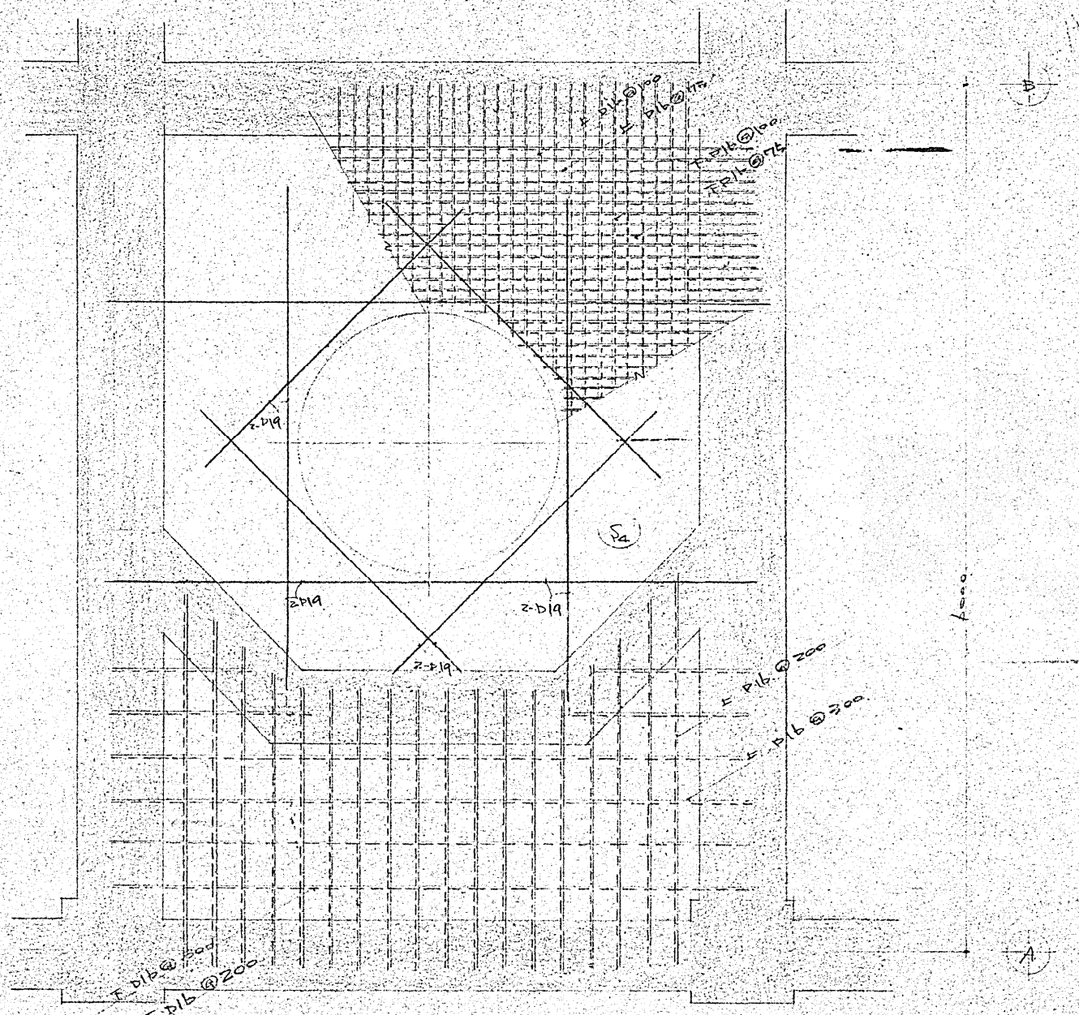
A 30



スラブ配筋図 S: 1/50

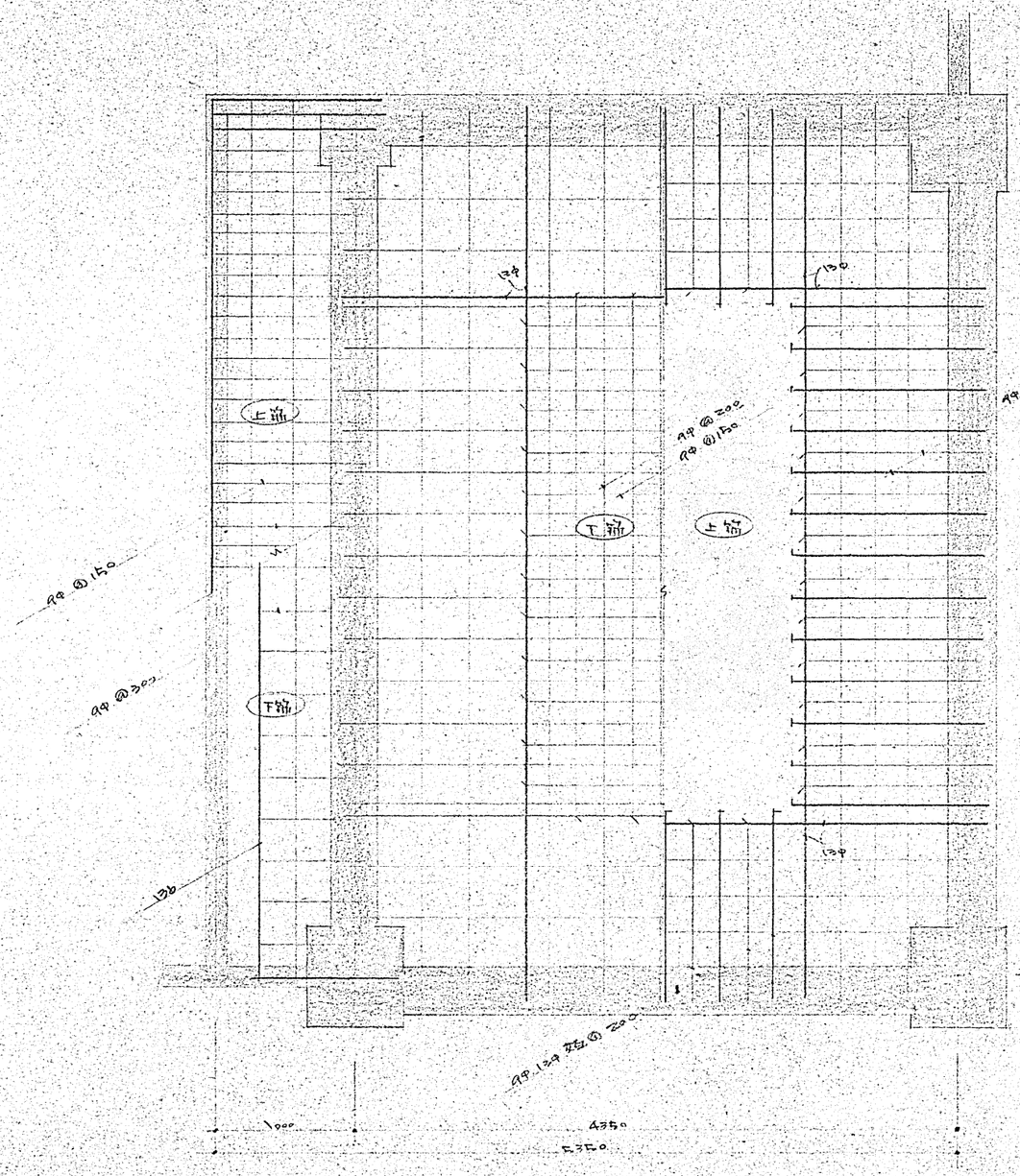
A 31



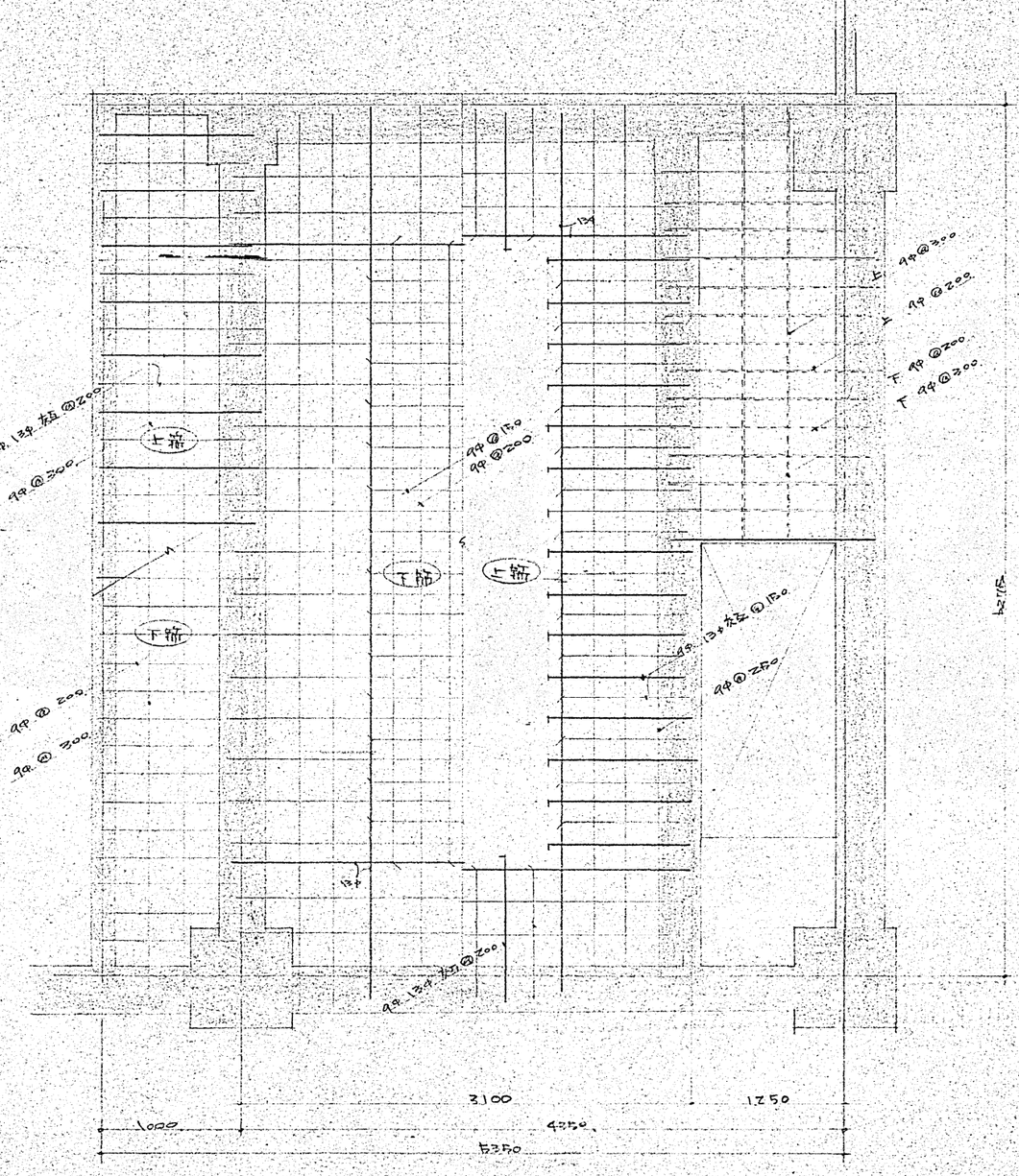


配筋図 スラブ配筋図 S=1/50

A 32

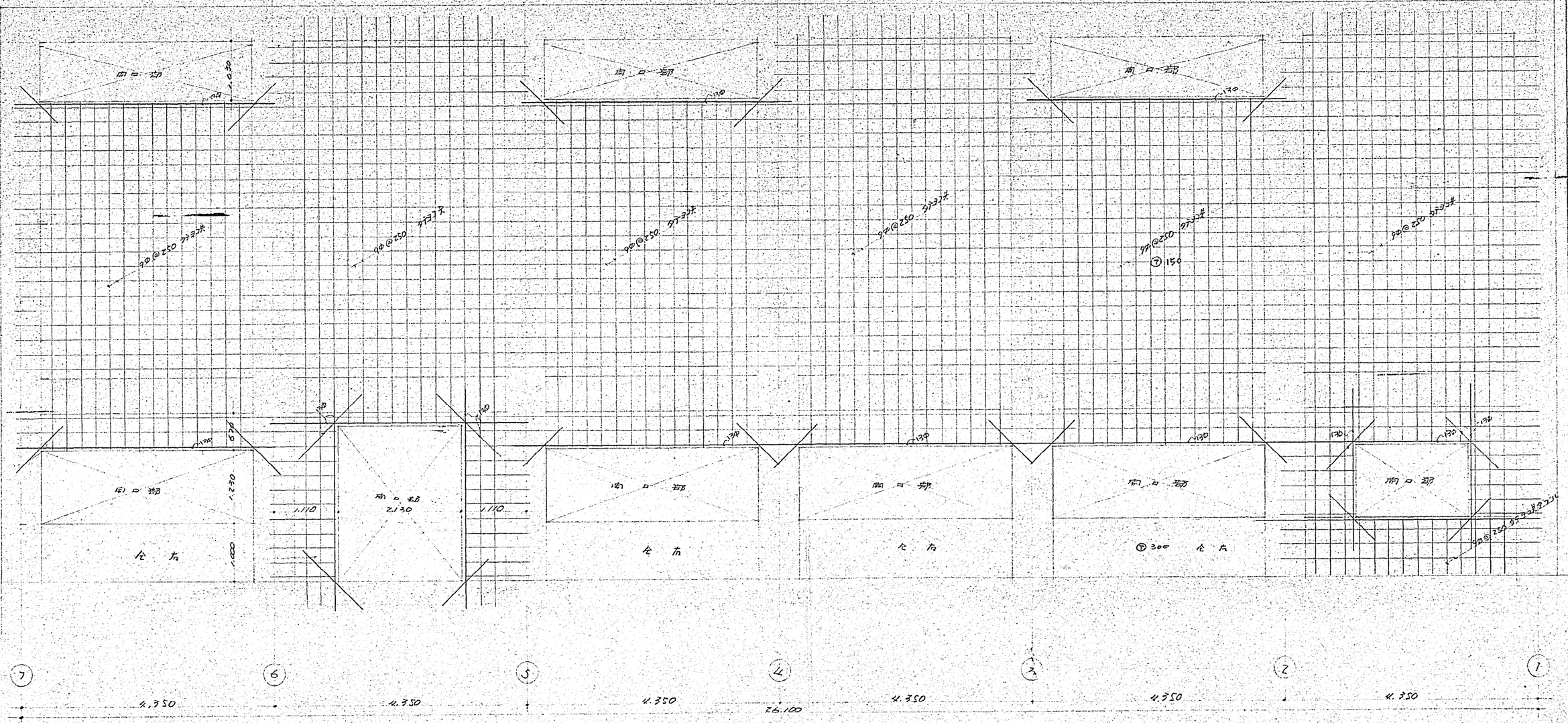


2階屋根スラブ配筋図 Scale 1/30
(管理室)

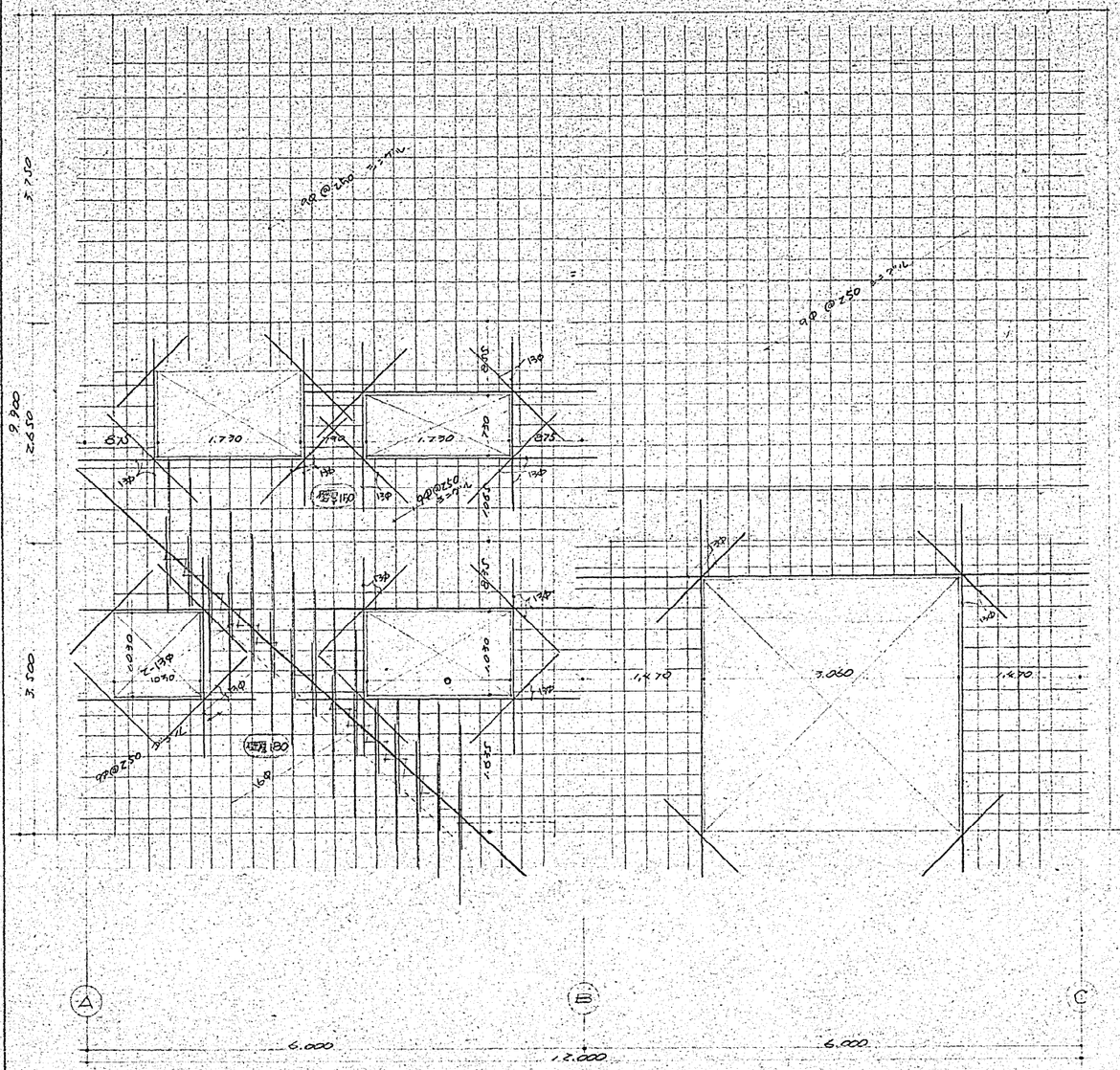


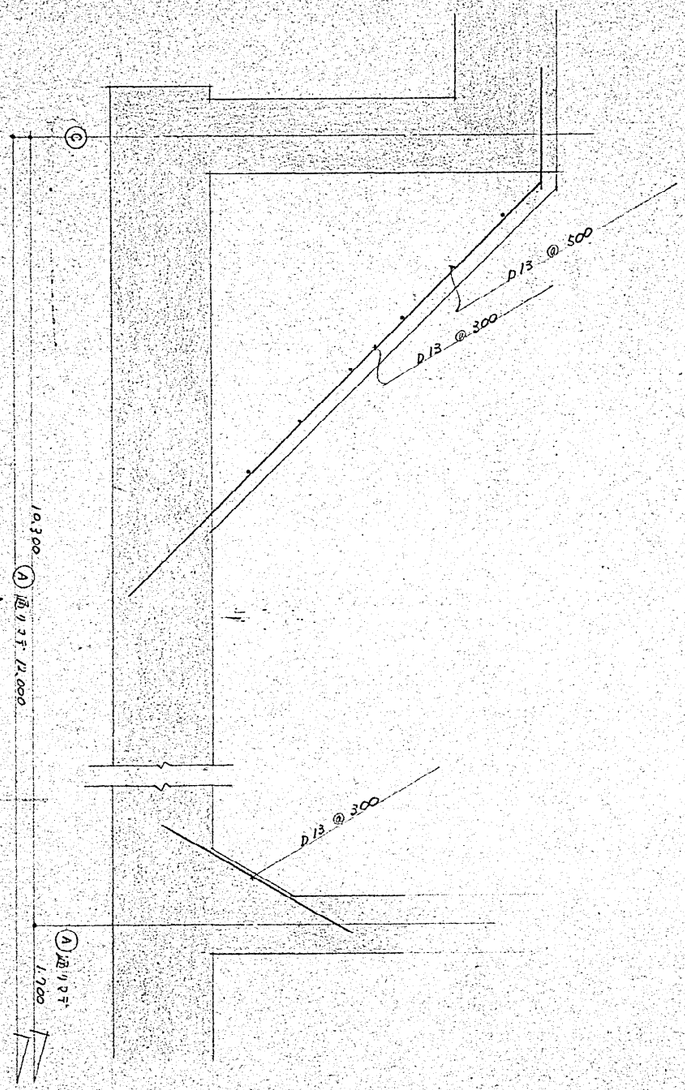
2階スラブ配筋図 Scale 1/30
(管理室)

A 33

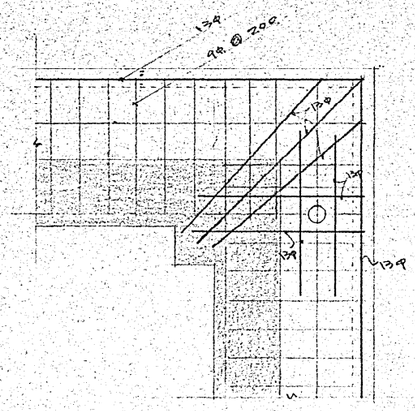

南口部
1.110
2.130
1.110
1.130
1.130
1.130

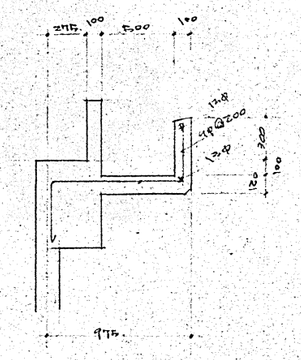
A 34


9@@250 =2-7L
1.730
1.730
1.730

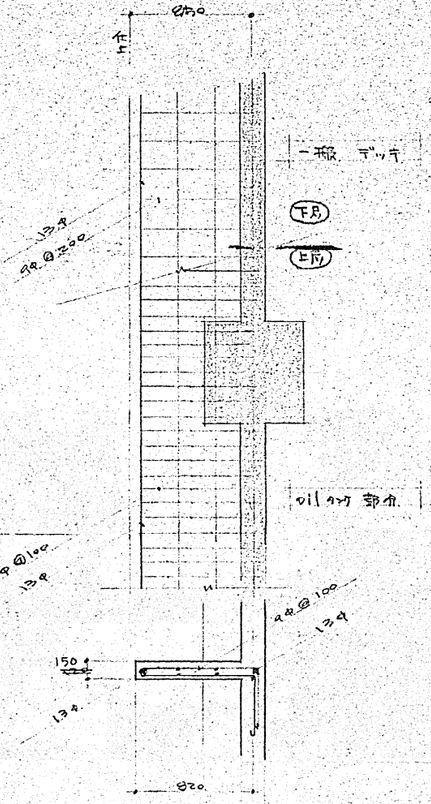


ハンチ補強筋 Sc: 1/30



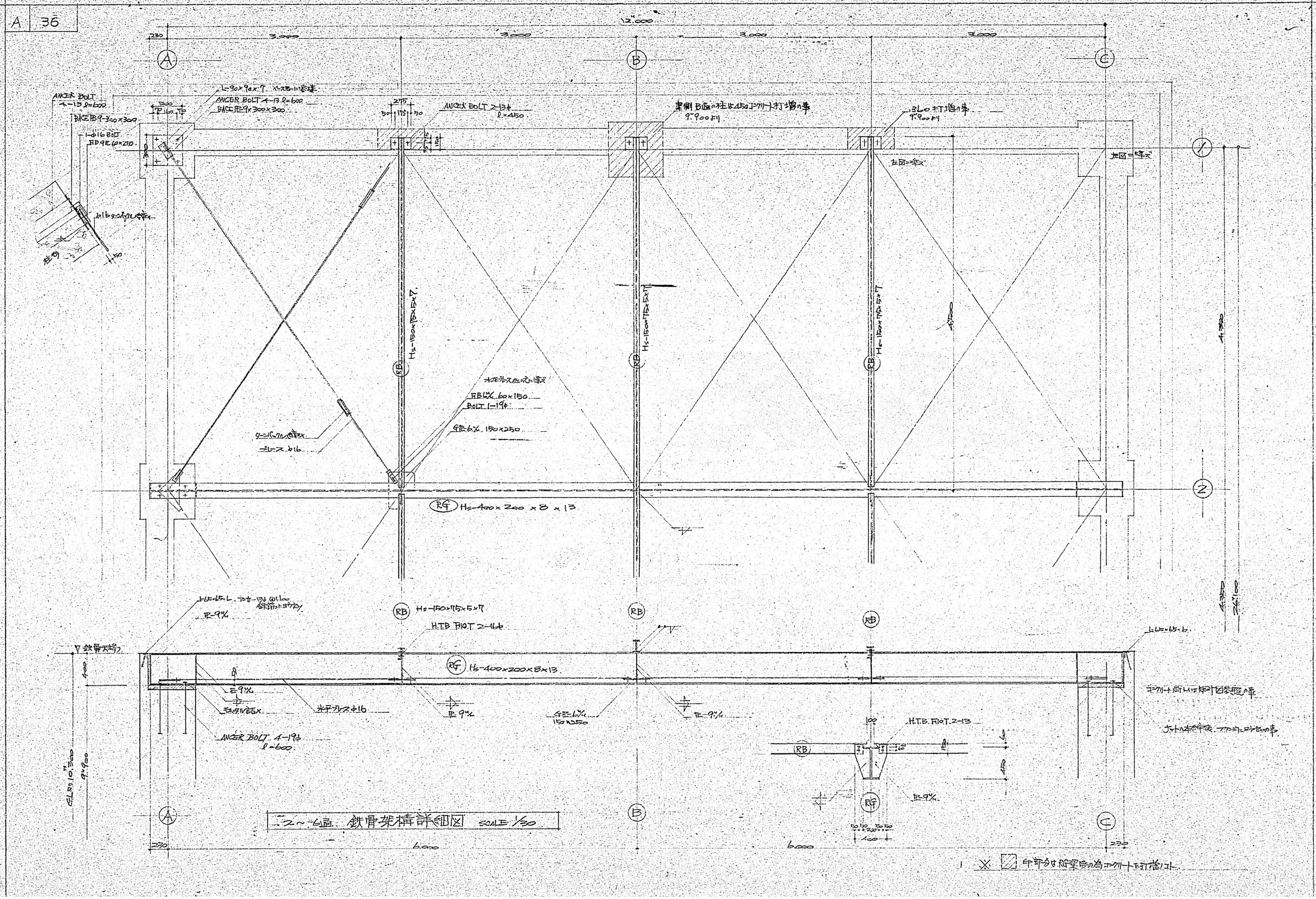


上端筋図 Sc: 1/30



デッキ配筋図 Sc: 1/30

A 36


12,000
3,000
3,000
3,000
3,000
230
A
B
C
1
2
ANCER BOLT
イ-13 ℓ=600
BASE PL-9-300×300
L-90×90×7 ベースプレート参考
ANCER BOLT イ-13 ℓ=600
BASE PL-9×300×300
ANCER BOLT 2-13φ
ℓ=450
基礎 RC造の柱出し150コンクリート打増の事
9.900より
360 打増の事
9.900より
左図=準ズ
左図=準ズ
H-150×175×5×7
H-150×175×5×7
H-150×175×5×7
水平ブレース芯心=準ズ
FBL-ズ 60×150
BOLT 1-19φ
ターンバックル=準ズ
ゴムース φ16
ボルト孔=6ズ 150×250
RG H-400×200×8×13
RB H-150×175×5×7
H.T.B. F10T 2-L4
RG H-400×200×8×13
ボルト孔=6ズ
150×250
水平ブレース φ16
ANCER BOLT イ-19φ
ℓ=600
H.T.B. F10T 2-13
RB
RF
L-65×65×6
コンクリート高さは基礎伏図参照の事
ナットは本締め後 アスファルトコテ塗の事
▽ 鉄骨天端
2,400
2,400
2,400

E 38

電気設備工事特記仕様書

電気及び水処理施設工事

A 一般事項

1．適　　用　　請負者は電気設備技術基準、電力会社工事要則、建築基準法、消防法等関係諸規則並びに本仕様書による外、Ⓑに従い施工する。

2．施工図及び竣工図　　工事着手前に工事監理者の指示を受け施工図、工程表及び資材発注報告書を提出し承認を受ける。施工中はその進歩状況を示す報告書を提出する。工事完成の上は他線、抵抗試験、其他監理者の指示する調査、試験をすると共にそれらの試験成績表、竣工図、取扱説明書等を提出する。

3．工事用材料の製作、検査、試験　　特に製作する器具材料は製作前に製作図を提出し承認を受ける。尚指示するものは立会検査を行い、試験成績表を提出する。

4．工事用材料　　すべての材料は指定製造業者の製品を使用するものとし、之等材料は監理者の検査を受け合格の上使用するものとする。又指定業者のない材料は監理者の指示による。

5．竣工検査　　工事中は監理者の立会の上中間検査を、完了時には竣工検査を行ない合格の上引渡すものとする。

6．手　　続　　工事に必要な届出、諸手続一切は工事請負者が代行し其の費用は請負者が負担する。

註．A：建築設備工事共通仕様書（日本建築家協会編）
Ⓑ：電気設備工事共通仕様書（官標協会編）
C：監理者

B 工事種目	工事内容	摘要
①．電灯コンセント設備工事	引込開閉器(漏電等)分電盤及び幹線より末端までの一式とする。	A.C. 也と兼務施工事
2．動力設備工事		
3．幹線設備工事		
④ 弱電設備工事		
㋑ 電話設備工事	引込より各アウトレットまでの一式施工事とする。	C 也と兼務施工事
ロ インターフォン、其他設備工事		
ハ 放送設備工事		
ニ 電気時計設備工事		
㋒ ~~ラジオ~~、テレビ共聴設備工事	引込より各アウトレットまでの一式施工事とする。	C 也と兼務施工事
5．自動火災報知設備工事		
6．非常灯、誘導灯設備工事		
7．避雷針設備工事		
8．高圧受電設備工事		
9．		
10.		
11.		
12.		

註　A：金属管工事　　B：ケーブル配線工事　　C：其他(工事方法)

C 施　　工

1．配管配線

(1) 管の接続は電気的並びに機械的に堅固にし管とボックスの接続箇所はラジアスクランプ又はこれと同等以上の効力のあるアースボンドを機械的、電気的に完全に施し、第3種又は特別第3種接地工事により接地する。

(2) 管のネジ切り部分、管メッキのはげ落ちた箇所、附属金物及びボックス等は防錆塗装を、ボックス内面は絶縁性塗装をする。露出部分は指定色ペンキ塗装仕上げする。

(3) 電動機、制御盤等これに類する機器への接続箇所の内電線管及びフレキシブルコンジットが直接機器に接続出来ない場合はサービスキャップ又はウェーザーキャップ等を設ける。

(4) 配管のみ行ない通線しない場合は管内を清掃し、ビニール被覆呼鉄線を入線する。

(5) 位置ボックス、プルボックスは共通仕様書によるものとする。

(6) 金属管を地中埋設する箇所にはアスファルトジュード巻を施す。

(7) 電動機、ノーヒューズブレーカー等機器と電線接続及電線相互の接続にはビニール被覆圧着端子及び接続子を使用する。

(8) 屋内をケーブル配線工事による場合は天井内をインペイコロガシ配線(指示する箇所はステップル止メ)とし壁内立下り部分は電線管により保護するものとする。

(9) フラシュプレートは次の通りとする。　○スイッチ.コンセント類(A)　○電話.インターフォン用(A)(D)○時計.スピーカ用　○テレビ用(A)(D)
但し、A:プラスチック.無地　B:プラスチック木目　C: デラックス金属　D:新金属　E:ステンレス　F:青　H:丸穴

2．器具取設

(1) 諸器具の取付位置、高さ等詳細については施工図による他、現場に於て監理者の指示により決定する。

D 器具基準

(1) 工事に使用の機器及材料は、JIS,JEC,JEM等の規格品とする他、建設省営繕局制定の基準に合格するものとする。但し、配電盤及照明器具はメーカー仕様による

E 特記事項

(1) 本書、図面に明記のない事項でも機能上当然必要なものの他、工事中の疑義については監理者の指示に従い完全に施工するものとする。

◎ 工事用材料の製造業者は下記の通り指定する。（順不同）

製品名	製造業者	製品名	製造業者
鋼製電線管	日本パイプ製造KK・松下電工KK 東亜鋼管KK・拱陽工業KK	変圧器	松下電器産業KK・三菱電機KK・KK日立製作所 四国変圧器KK・東京芝浦電気KK
同上附属品	上記の外　日亜金属工業KK 外山電気KK・KK寺田電機製作所	進相コンデンサー	松下電気産業KK・三菱電機KK KK日立製作所・日本コンデンサー工業KK
塩ビ電線管	ヘマ化成KK・久保田鉄工KK 三菱樹脂KK・積水化学KK	放送設備器材	日本ビクターKK・日本コロンビアKK・松下電機産業KK 東京芝浦電気KK・東亜特殊電機KK
同上附属品	上記の外　日動電工KK 昭和ビニール工業KK・東洋化学産業KK	インターフォンナースコール	松下電器産業KK・新星電機工業KK アイホンKK
電線	A級6社の外　矢崎総業KK 西日本電線KK・タッタ電線KK	テレビ共聴器材	ホーチキKK・八木アンテナKK DXアンテナKK・マスプロ電工KK
電線	上記9社	親子時計	KK服部時計店・松下電工KK KKコーセー・KKTIC・沖電気工業KK
配線器具	松下電工KK・東京芝浦電気KK 神保電器KK・KK明工社	火災報知器材	ホーチキKK・能美防災工業KK・ニッタンKK 沖電気工業KK・松下電工KK
照明器具	松下電工KK・東京芝浦電気KK・三菱電機KK・KK日立製作所 (水銀灯)岩崎電機KK・(白熱灯)天光電機KK・山田照明KK・ヤマギワ電気KK	防火下アー閉鎖装置及其他防災装置	ホーチキKK・能美防災工業KK・ニッタン精機KK 日恵機材KK・KKゴール・大島機工KK
換気扇	松下電工KK・東京芝浦電気KK 三菱電機KK・KK日立製作所		
分電盤及操作盤	香東電機KK・松下電工KK・KK泰平電気製作所・KK正興電機製作所 川崎電気KK・山菱電機KK・一光電機KK		
配電盤及端子盤	上記7社		
キュービクル	上記7社	其他	監理者の指示により決定する

凡　　例　　（本表以外はJIS-C 0303-71によるものとする）註、○印のみ使用する。

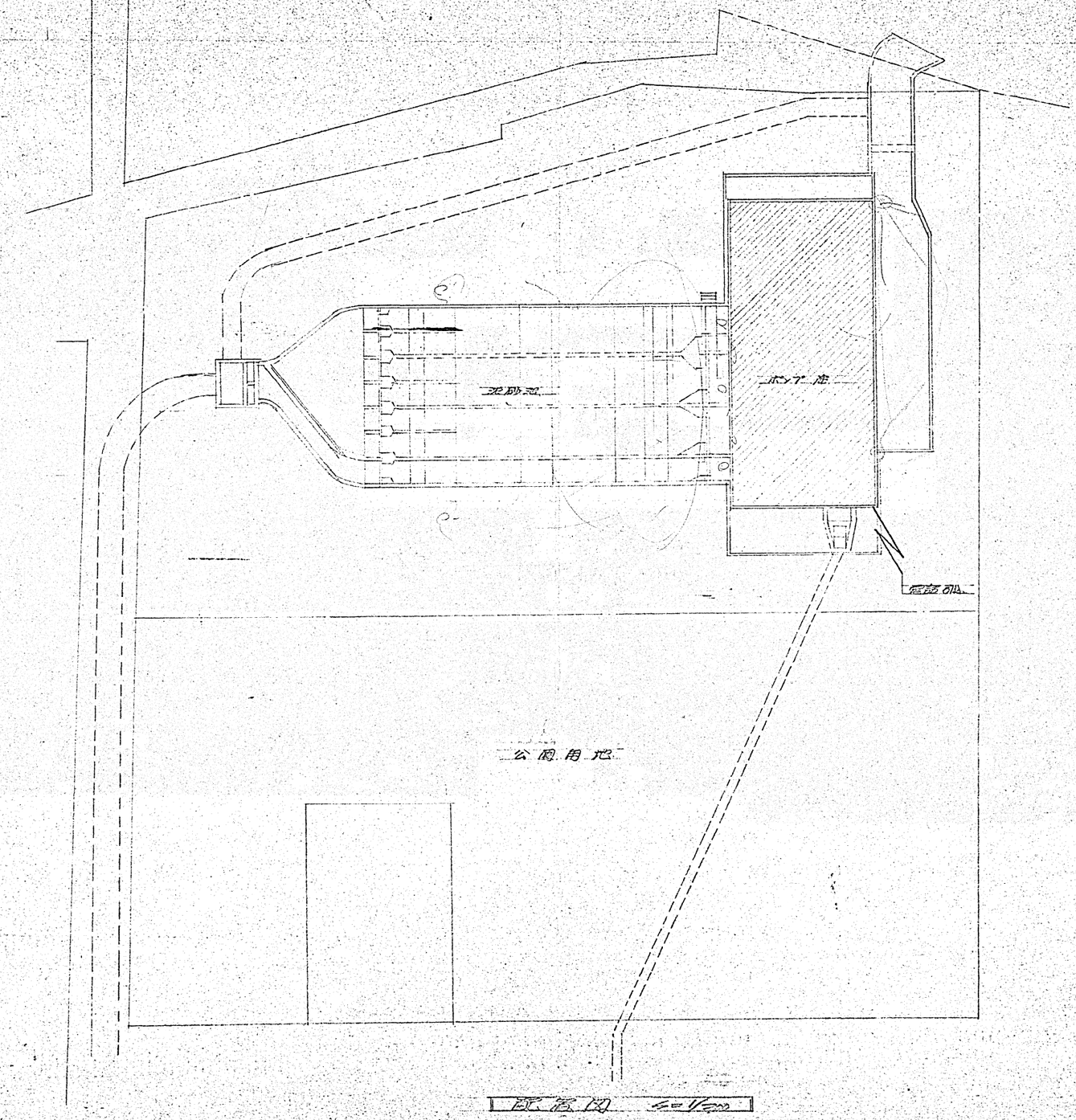
シンボル	名称及仕様	備考	シンボル	名称及仕様	備考	シンボル	名称及仕様	備考
•	引込スイッチ箱		• S	配電箱　Aメーター付		◎ C	テレビ用アウトレットボックス	
◎	分電盤		• S	〃　Aメーターなし		•	埋込整合器、分岐器付	
•	動力操作盤		• T	温度検出器(抵抗体)		•	〃　未端型	
•	集合計器盤		• TH	温度調節器(サーモスタット)		• F	分配器箱	系統図参照
•	計器箱		• H	湿度検出器		•	ブースター収容箱	〃
•			• HH	湿度調節器(ヒューミスタット)		•	テレビアンテナ	〃
•			•			•		
◎ (2)	コンセント　埋込連用　2P15A(2連)		•	端子盤、埋込1一A付		•	火報受信盤、P型　級　窓	非電付
◎ T	〃　〃　防まつ　2P15A		•	保安器箱　Pr用		• P	発信器、P型　級	
• F	〃　埋込2P15A　ET付		•	親時計、水晶式		•	標識灯　L5W	
◎ WP	〃　埋込防水型　2P15A		•	子時計		• B	警報ベル　150φ	
•	〃　〃　2P15AET付		• T	〃		•	スポット感知器、差動式2種	
•	〃　埋込2P20A　2P30A		• T	〃		•	〃　定温式1式	
•	〃　埋込　3P　A		•	時計用アウトレットボックス		•	〃　〃　防水型	
•	〃　〃　4P　A		•			•	〃　〃　防爆型	
•			• I	インターフォン親機		• M	煙感知器　イオン式2種	
• T	フロアーコンセントスライド式 2P15A×2 TFB-5F		• I	〃　子機		•	〃　〃　点検ボックス付	
•			• D	ドアーフォン親機		•	回路試験器	
•			• D	〃　子機		•	空気管質通個所	
◎	タムプラスイッチ埋込連用　1P10A		•			•	差動式分布型感知器、2種	
• WP	〃　〃　2P10A		• E	エレベーター用インターフォン		•		
◎ 3(4)	3路4路スイッチ　〃　3w10A　4w10A		• T	有線用アウトレットボックス		•	防火ドアー、排煙機用制御盤	
◎ WP	タムプラスイッチ　埋込防水型		◎ T	電話用アウトレットボックス		• S	煙感知器、3種	
•	押釦スイッチ　埋込連用10A		• T	内線電話機		•	電磁レリーズ、壁付	
• R	リモコンスイッチ　〃　波動型		• B	警報用押釦スイッチ		•	〃　アーム型	
•	リモコンセレクタースイッチ 2線式		• B	警報ベル		•		
•	リモコンリレー　〃		•	警報ブザー		•		
•	リモコンリレー集合ボックス		•	警報受信盤		•		
•	パイロットランプ埋込連用		•			•		
◎ 6A	自動点滅器　1P3A　200V.		• AMP	増巾器		•		
◎	換気扇(埋込)		•	コーン型スピーカー壁掛			電線管プラグ止メ	
• M	電動機位置		•	〃　天井埋込			立上り　立下り　素通し	
• S	電磁弁　〃		•	ホーン型スピーカー			接地工事　(種別)	
• H	電熱器　〃		•	アッテネーター埋込			プールジョイントボックス	
• F	フロートスイッチ　別途		•	スピーカー用ジャック			VVケーブル用ジョイントボックス プラスチック製	
• P	圧力スイッチ　〃		• M	マイク用メタルコンセント壁付　3P			ハンドホール　詳細図参照	
• LF	フロートレス電極 保護ケバー付		• M	〃　床付 回転式 3P			天井いんぺい及埋込配管 配線	
•	操作用押釦スイッチ ランプ付		•	ワイヤレスアンテナ			床埋込配管 配線	
			•	スピーカー用アウトレットボックス			地中埋設配管配線	
						5-50	電線(電線管)の太さ及本数を示す	
							電線管のみの箇所	
							16㎟×2(19)の場合は本数表示を省略する	

(ﾄﾞｱｰ ○印のみ記入)

註記

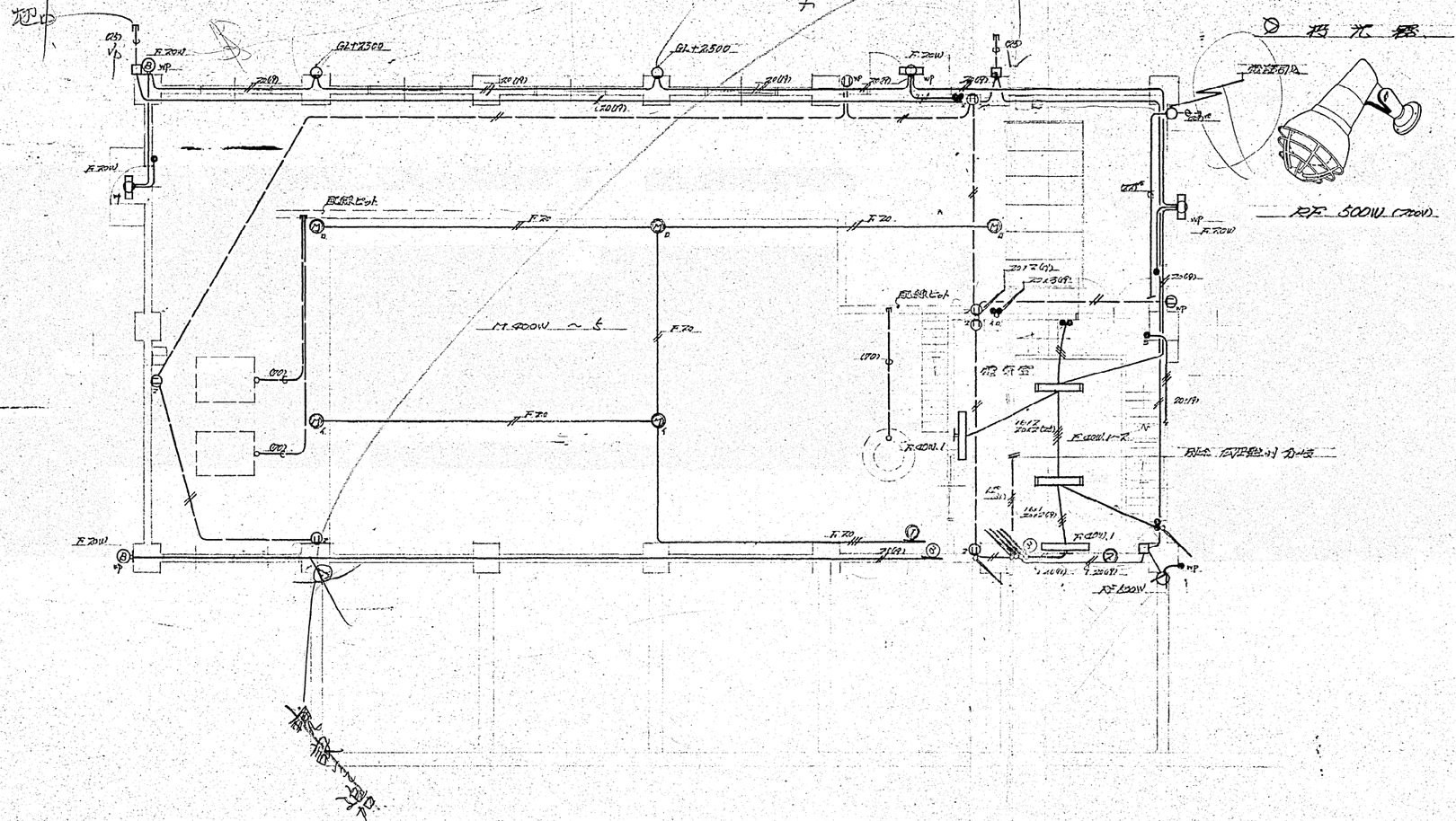
1．弱電用アウトレットボックスの内、○印のものは壁付、印は床付とする
2．記入なき配線、配管は次の通りとする。
○電灯回路　16㎟×(3) ○コンセント回路　22㎟×(3)
○　　○
○　　○

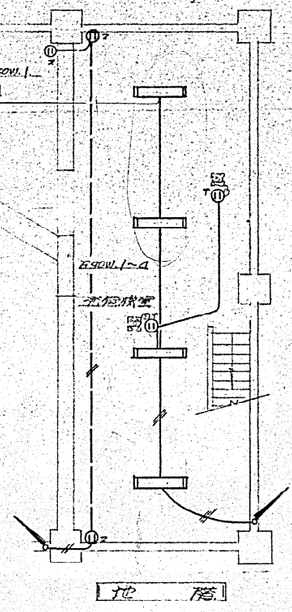
E 39.



E 40

下付直付灯	F 40W × 2 SRH F 40W × 1 RH F 70W × 1 GH
コーナーライト	F 40W × 1 RH
ウォールライト	防水型 F 70W GH
ウォールライト	F 70W GH
防犯灯	防水型 F 70W GH
シーリングライト	CB 40W
マルチハロゲン灯	M 400W 高天井 (700W)




F 40W
F 40W
F 40W

W 41

凡例

———	給水管	硬質塩ビ管 JIS K6742 VU
———	排水管	〃 〃 K6741 VP
——C——	汚水管	〃 〃 〃
———	屋外排水管	ゼットパイプ
	給水栓	
……□……	散水栓	BC型 BOX付
Φ	床ストレーナ	
◍	床上掃除口	
M ⊖	仕切弁	全ねじ BOX付
⊖	逆止弁	〃 〃
▣	汚水桝	鋳鉄製蓋 400φ (MHA)
▣	雨水桝	コンクリート蓋 360φ
——G——	ガス管	配管用 鋼管 JIS G3452
⊠	調整弁	3KG/H
⊕	ストップ弁	
⊗	ニクガス栓	13φ × 10φ
⊠	ガスメーター	PK 15,00

仕様書

概要

1. 仕生器具設備工事　図面器具表　記載の衛生器具 排水金物等 取付迄を 共工一切。
2. 給水　設備工事　給水は図示位置より引込、直結配管にて各器具接続迄を共工一切。
3. 排水　設備工事　排水は雑排水 汚水の二系統とし各器具より続、如り上、汚水は浄化槽を経て市側共用ますへ放流とし、雑排水は各個迄とし 以降別途工事とする。
4. ガス　設備工事　ガスは都市ガスとしプロパンガスとし供給元迄にて各器具迄共工一切。
5. 排気　設備工事　図示位置にダクト換気扇設置、これよりダクトにて排気する工事一切。

主要使用材料メーカー

衛生陶器金具類	東陶	伊奈	
排水金物類	小島	長谷川	大阪ドルニエ
配管用鋼管	日本鋼管	住友金属	新日鉄
合成樹脂類	日立金属	理研ビニリオン	日本鋼管
硬質塩ビ管	久保田鉄工	三菱樹脂	積水化学
弁類	東洋バルブ	大和バルブ	北沢バルブ
弁筐、マンホール	長谷川	大阪ドルニエ	小島
ガス材料	伊藤工業	富士製作所	
浄化槽	四国大宮工業、又は同等品		
ダクト換気扇	三菱電気	松下	日立

施工

本工事に関しては空気調和衛生工学会 標準仕様に基く外下記に依る。

1. 配管は天井、床、壁等を貫通する場合はメリーフを設け見え掛りはニッリがプレート取付の事
2. 給水管は防露施工、防露材 発泡ポリエチレン 9 15mmとし下記による。
   (A) 室内露出　(イ) アスファルトブルー (ロ) 発泡ポリエチレン (ハ) 鉄線 (ニ) 原紙 (ホ) 線布
   (B) 屋外　〃　(イ)　〃　(ロ)　〃　(ハ) アルミガルテープ (ニ)　〃　(ホ) 亜鉛鉄板 0.3t
3. ガスはプロパンガスに準じて責任施工とし ガス漏れなき様入念に施工の事
4. 配管終了後、水圧テスト 10kg/cm², 30分間施工、排水、汚水は満水テスト施工の事
5. 器具は全て用途に応じた完成品との事

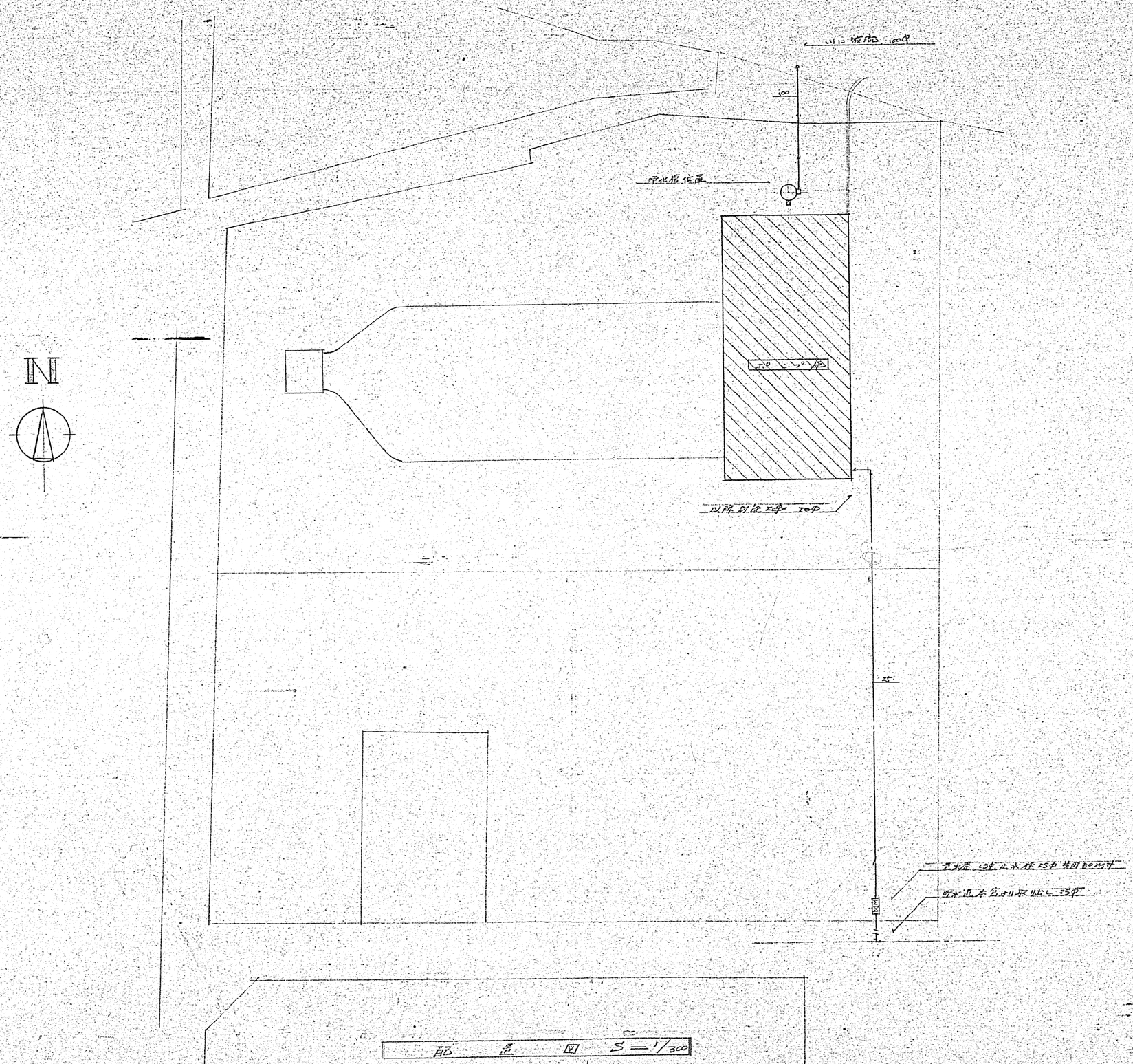
その他一般事項

本工事施工に伴う諸官庁への手続一切は請負人とし費用も同様とする。

図面仕様に特記なき事項でも機能上必要なる場合は監督と協議の上請負人に於て施工の事。

以上

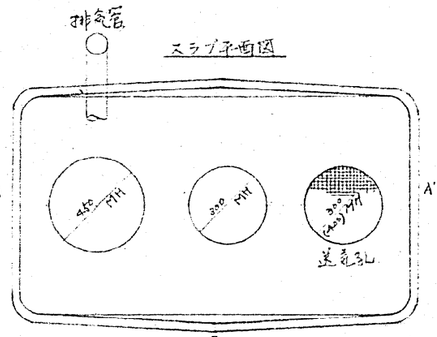
W 42

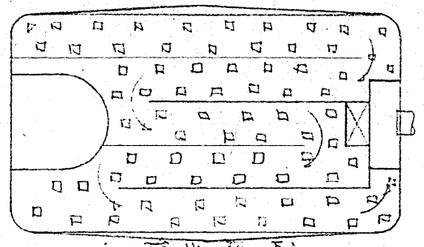


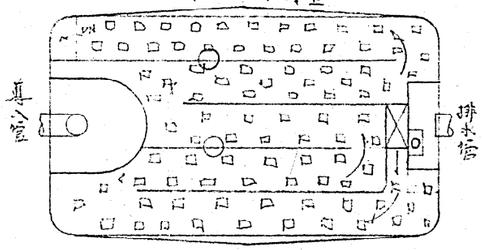
配 置 図 S = 1/300

ダイヤ式平面酸化型
し尿浄化槽

5人～30人

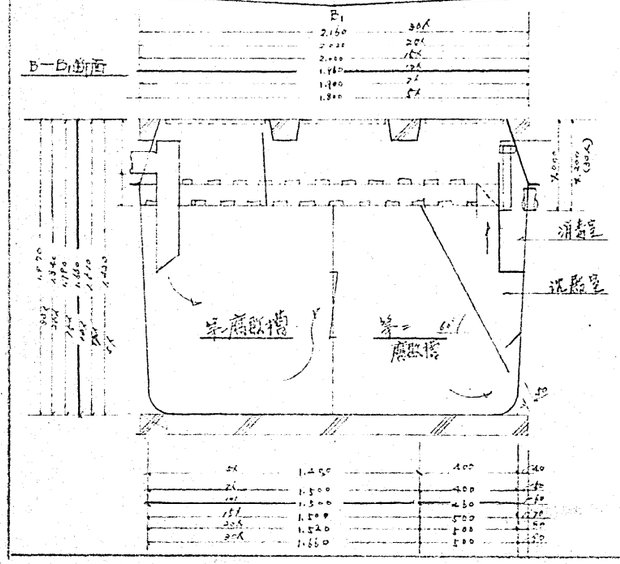


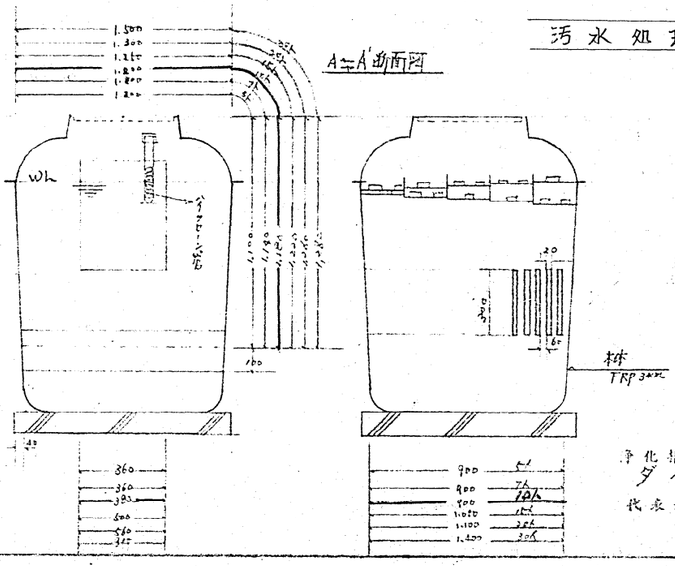




	5人	7人	10人	15人	20人	30人
第一腐敗槽	1.000	1.177	1.392	1.700	2.000	2.700
〃 2	0.330	0.443	0.660	0.877	1.000	1.350
流入管	0.140	0.223	0.270	0.330	0.400	0.540
計	1.470	1.842	2.322	2.900	3.400	4.590
酸化槽	2.400	2.600	2.800	3.050	3.550	4.775
消毒室	0.013	0.016	0.025	0.040	0.050	0.076
送気孔						
真空	100	100	100	100	100	125

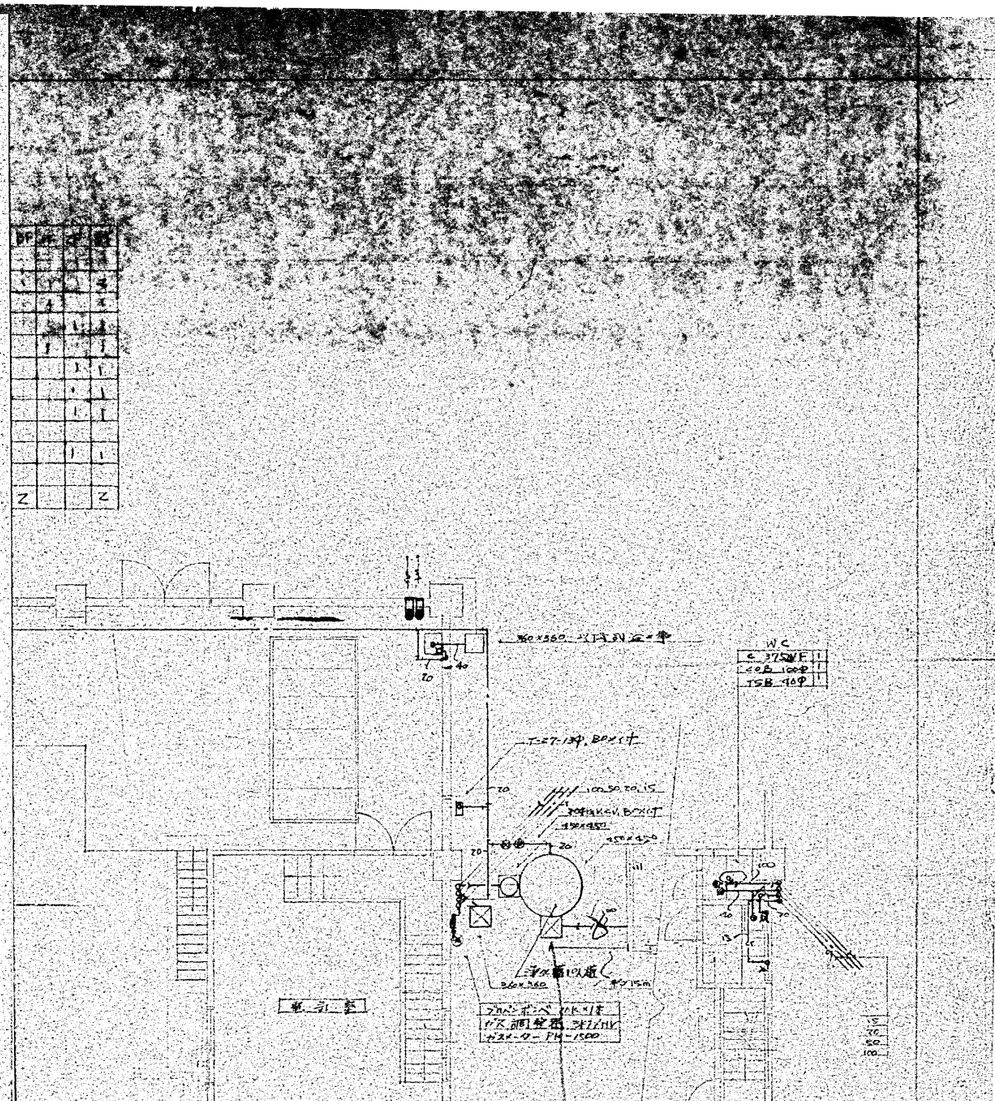
材質	
本体	FRP 3Pt以上
槽内部	FRP及び塩化ビニール
マンホール	鋳鉄
消毒槽	日光ハイタイト





浄化槽製造販売
ダイヤ住器工業
代表者 山口幹章
福島県板野郡上板町高瀬[illegible]
TEL088694－3332

汚水処理場



地階

1階

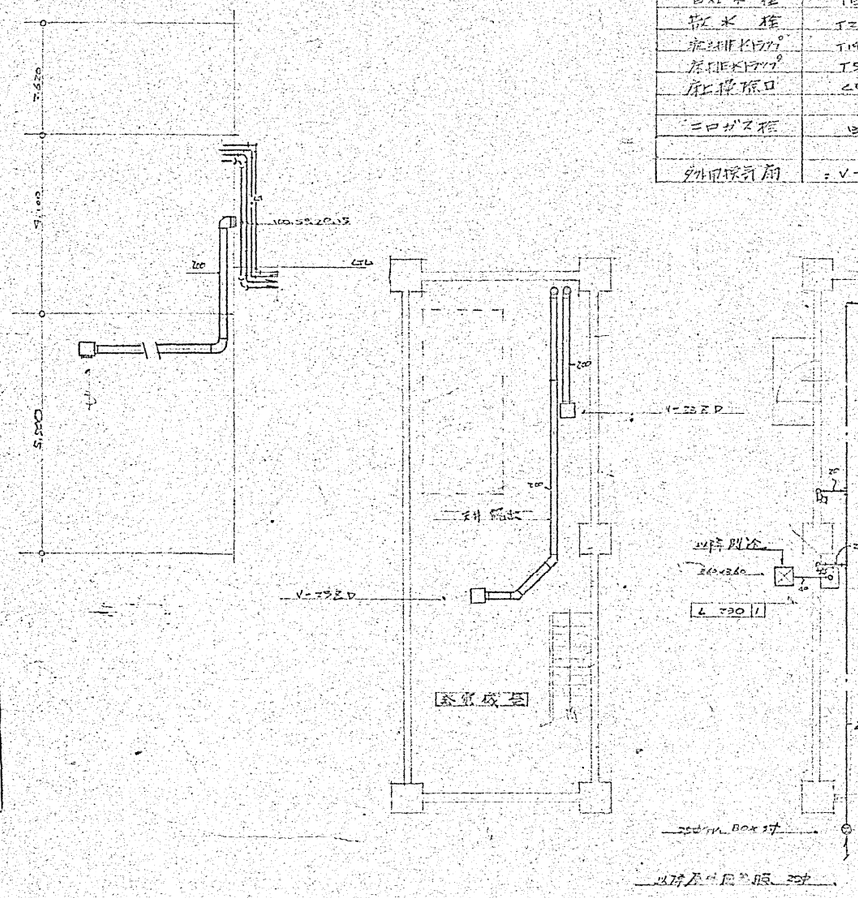
中2階

W 43

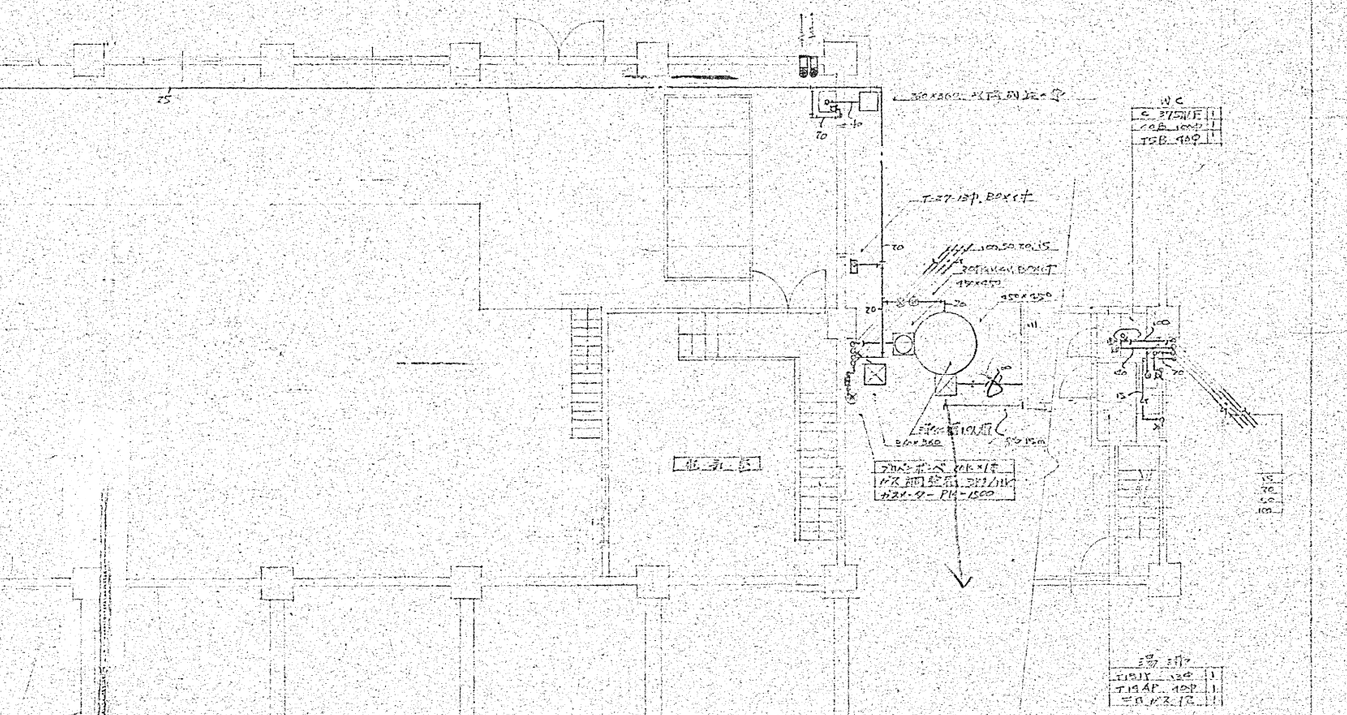
器具表

品名	規格	付属品	BF	IF	CF	計
和風両用便器	C 洗浄AVF	T5470, T5470D, T5470F, T5472, T5470H, T5472, T5476AT			1	1
洗面器	L 230	T205T, T49A, T5P, T5125AS, T15AT, T5CAT		1		2
万能手洗水栓	T200 13Φ			1		1
自在水栓	T211Y 13Φ				1	1
散水栓	T27 13Φ	B-3型, BOX付		1		1
非接触給水栓	T19AP 40Φ				1	1
床排水トラップ	T5B 90Φ				1	1
床上掃除口	60B 100Φ				1	1
二口ガス栓	13Φ×10Φ				1	1
外部換気扇	ニVV-2ミ 2P	埋100V 92W パイプ連結 ベントキャップ付	2			2

工事系統図



地下


75
300×300 人孔蓋 BN 鉄ー
T-27 13Φ, BOX付
70
100×50 TO 15
300×450
300×450
150
75
75
75
100
W C
C 洗浄AVF 1
T5B 90Φ 1
T5B 90Φ 1
T15AT 13Φ 1
T15AT 19Φ 1
T5CAT 13Φ 1
T5CAT 19Φ 1
T5B 90Φ 1
T5B 90Φ 1
T5B 90